

南知多町公共施設再配置計画 (案)

令和5年1月24日時点

令和6年●月

南知多町

目 次

第 1 章 計画の概要	1
第 1 節 計画の目的と位置付け	1
1 計画の目的.....	1
2 計画の位置付け.....	2
3 計画期間.....	3
第 2 節 再配置計画で対象とする施設	4
1 公共施設一覧.....	4
2 位置図.....	7
第 3 節 本計画の構成	8
第 2 章 公共施設を取り巻く状況	9
第 1 節 本町の位置・沿革	9
第 2 節 人口・財政の状況	10
1 人口状況.....	10
2 財政状況.....	12
第 3 節 上位関連計画の整理	14
第 4 節 これからの公共施設のあり方	15
1 持続可能な開発目標（SDGs）の実現を目指して.....	15
2 アフターコロナにおける新しい公共施設のあり方を目指して.....	16
3 Society 5.0 の実現に向けた持続可能な地域づくりを目指して.....	17
4 公共交通網と MaaS を活用した移動利便性の向上を目指して.....	18
5 脱炭素化を目指して.....	19
第 5 節 公共施設を取り巻く状況のまとめ	20
第 3 章 公共施設の現状	21
第 1 節 公共施設の保有量	21
1 施設保有量の推移.....	21
2 総合管理計画改定前後の保有量.....	22
3 用途分類別保有量.....	23
4 人口 1 人当たりの延床面積.....	23
5 地区別の公共施設保有状況.....	24
第 4 章 再配置計画における基本方針	28
第 1 節 公共施設の削減目標	28
1 削減目標.....	28
2 削減目標の考え方.....	28

第2節	公共施設等に対する町民の意向	29
1	南知多町公共施設に関するアンケート調査	29
2	地域代表者ヒアリング	35
3	南知多町地区別説明会・意見交換会	38
4	公共施設に対する町民の意向まとめ	41
第3節	基本方針	42
1	南知多町の地勢に配慮した施設配置の見直し	42
2	「あたらしい地域の拠点をつくる」ことによる新たな価値の提供.....	42
3	本当に必要な機能を見極めた持続可能な公共サービスの提供.....	42
4	未来のまちづくりの種地となる跡地の有効活用	42
第5章	公共施設評価	43
第1節	公共施設評価の考え方	43
1	評価手法	43
2	機能評価の考え方	43
3	建物評価の考え方	43
第2節	評価結果	44
1	機能評価の結果	44
2	建物評価の結果	44
第6章	公共施設の再配置について	45
第1節	再配置プラン検討の流れ	45
第2節	再配置プランの検討	45
1	再配置の手法	45
2	再配置プランの比較検討	45
3	モデルプランの検討	45
第3節	跡地活用の考え方について	45
第7章	再配置までの概算経費の試算について	46
第1節	既存施設を維持した場合の経費の整理	46
第2節	公共施設を再配置した場合の経費の試算	46
第3節	財政負担縮減効果の確認	46
第8章	再配置ロードマップ	47
第1節	中長期的なロードマップ	47
1	ロードマップの見方	47
2	施設分類別ロードマップ	47
3	地区別ロードマップ	47

第9章 計画の推進に向けた今後の取組	48
第1節 公共施設マネジメントに係る各種計画との連携	48
第2節 推進体制の構築	48
1 庁内における推進体制	48
2 町民提言書	48
第3節 計画の進捗管理（PDCAサイクル等）	48
参考資料	49
第1節 公共施設の状況	49
1 施設類型別の状況	49
2 地区別の状況	49
第2節 ニーズ調査	49
1 住民アンケート	49
2 施設管理者ヒアリング	49
3 地域代表ヒアリング	49
4 再配置検討ワーキンググループ	49
第3節 委員会等	50
1 町民討議会	50
2 再配置検討ワーキンググループ	50
3 再配置検討委員会	50
第4節 町民啓発	50
1 地区別説明会&ワークショップ	50
2 パブリックコメント	50
3 記念フォーラム	50

第1章 計画の概要

第1節 計画の目的と位置付け

1 計画の目的

南知多町（以下「本町」という。）が所有する公共施設の多くは、築30年以上であり、今後、一斉に更新時期を迎え、財政負担の増大が見込まれます。

加えて、人口減少や少子高齢化に伴う税収減、社会保障関連経費の増大など、本町の財政は厳しい状況となっていきます。

こうした状況の下、限られた財源の中で、将来にわたって質の高い公共サービスを提供し続けるとともに、財政負担の軽減、平準化を図り、人口規模や町民ニーズに適合した公共施設の適正規模・適正配置を進めることで、次世代に負担を先送りすることなく、持続可能な本町のまちづくりを進めることが必要となってきます。

このような背景を受け、本町では、平成29年3月に南知多町公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）を策定しました。総合管理計画は、本町における公共施設等の現況や財政状況、人口動態を明らかにし、「公共施設等の管理に関する基本的な方針」として、更新・統廃合・長寿命化等の実施方針、目標を示しています。

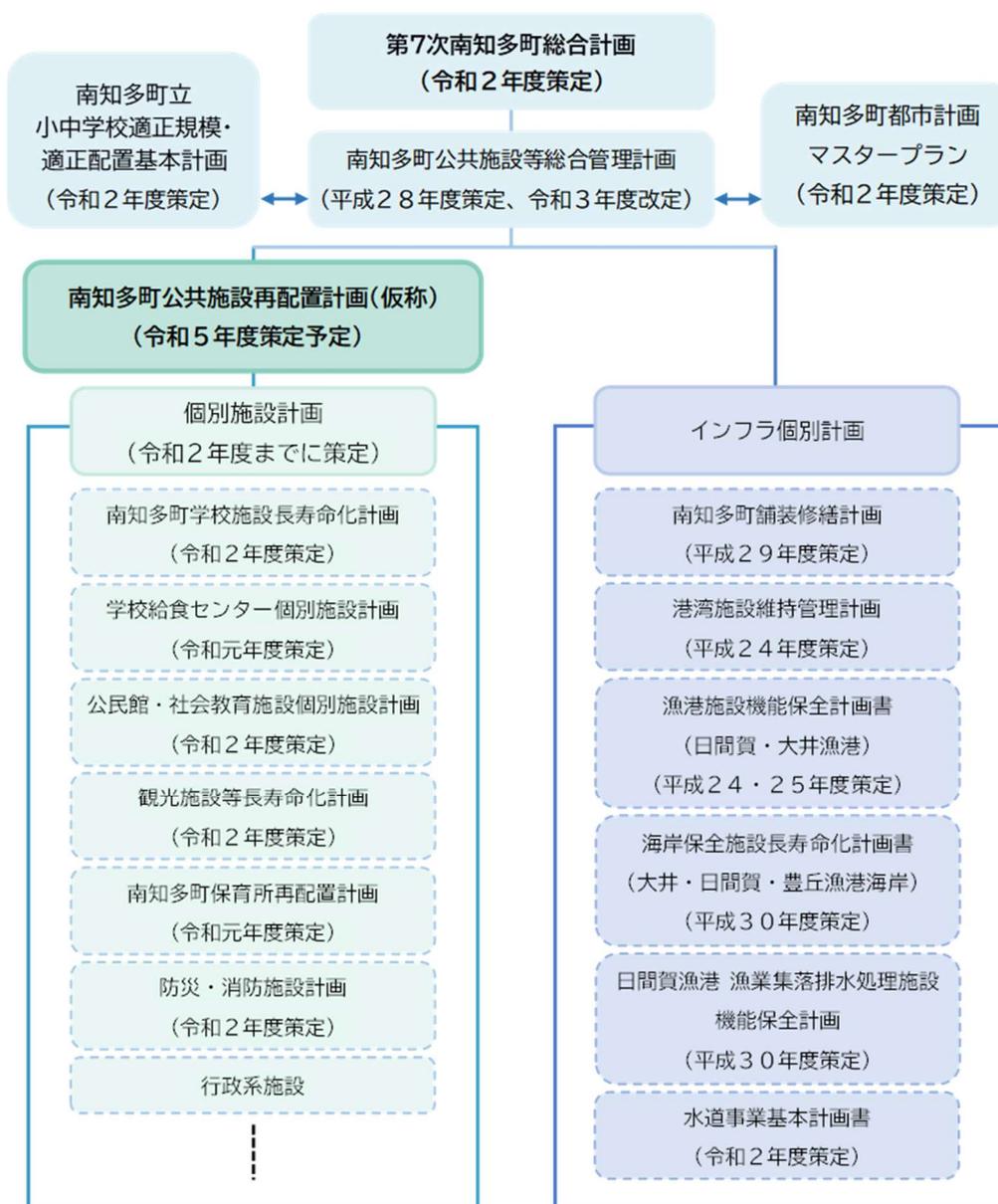
今回、策定する南知多町公共施設再配置計画（以下、「本計画」という。）では、総合管理計画を踏まえ、中長期的視点に立ち、公共施設等の更新等を計画的に進め、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、公共施設の適正規模・適正配置の最適化を図ることを目的としています。

今後、本計画に沿って、施設毎の再配置対策を具体的に進めていく際には、町民ニーズや社会情勢等の変化を踏まえ、町民の皆様のご意見を伺いながら更なる検討を重ね、公共として本当に必要なサービスを提供し続けることができるよう実施してまいります。

2 計画の位置付け

本町では、平成 28 年度に「南知多町公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」という。）を策定した後、本町の公共施設について、総合管理計画を上位計画とし、個別施設計画を令和 2 年度までに策定し、施設毎に長寿命化の方針を定めました。

また、総務省が各地方公共団体へ通知した「令和 3 年度までの公共施設等総合管理計画の見直しに当たっての留意事項（令和 3 年 1 月 26 日）」等を受けて、本町の総合管理計画を令和 3 年度に改定しました。本計画は、本町の最上位計画である第 7 次南知多町総合計画（以下、「総合計画」という。）を始めとし、総合管理計画及び本町の各種計画と整合性と連携を図りつつ、今後の方向性や公共施設の再配置を検討します。



出典：南知多町公共施設総合管理計画

3 計画期間

本計画の計画期間は、令和6年度から令和35年度までの30年間とします。

上位・関連計画の見直し、公共施設の状況に応じて適時計画の評価や検証、改訂を行うものとしてします。

なお、各施設の概要や方策、実施期間等の公共施設の再配置に係る10年ごと（前期・中期・後期）のロードマップを作成します。町民や庁内合意形成の結果を適時フィードバックし、ロードマップの見直しを行うなど、柔軟に運用していきます。

前期	令和6年度から令和15年度（10年間）
中期	令和16年度から令和25年度（10年間）
後期	令和26年度から令和35年度（10年間）

計画期間	R6年度～R35年度(30年間)																																
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16～R25	R26～R35																		
第7次南知多町 総合計画 2021 ▼ 2032	基本構想 12年																																
	前期計画 4年				中期計画 4年				後期計画 4年				※計画期間は12年間とし、4年ごとに見直し。																				
	アクションプラン 第1期 3年			アクションプラン 第2期 3年			アクションプラン 第3期 3年			アクションプラン 第4期 3年			アクションプラン 第5期 3年			アクションプラン 第6期 3年			アクションプラン 第7期 3年			アクションプラン 第8期 3年			アクションプラン 第9期 3年			アクションプラン 第10期 3年			アクションプラン 第11期 3年		
	アクションプラン 第1期 3年			アクションプラン 第2期 3年			アクションプラン 第3期 3年			アクションプラン 第4期 3年			アクションプラン 第5期 3年			アクションプラン 第6期 3年			アクションプラン 第7期 3年			アクションプラン 第8期 3年			アクションプラン 第9期 3年			アクションプラン 第10期 3年			アクションプラン 第11期 3年		
	※計画期間は3年間とし、毎年見直し。																																
南知多町 公共施設等 総合管理計画	計画期間 H29～R42																																
南知多町 公共施設 再配置計画	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">前期10年</div> <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">中期10年</div> <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px;">後期10年</div> </div>																																

第2節 再配置計画で対象とする施設

1 公共施設一覧

対象とする施設は本町が所有する 90 施設（101,238.1 m²）で、以下のとおりです。

【公共施設一覧】

番号	施設名	施設分類 (大分類)	施設分類 (中分類)	延床面積 (m ²)
1	南知多町公民館	町民文化系施設	集会施設	478.8
2	南知多町公民館内海分館			1,175.7
3	山海公民館			453.4
4	大井公民館			555.2
5	師崎公民館			610.5
6	師崎公民館児童図書分館			189.4
7	篠島開発総合センター			1,014.9
8	日間賀島公民館			528.0
9	山海ふれあい会館			2,541.3
10	豊丘むくろじ会館			1,482.1
11	若子会館			113.2
12	旧中洲保育所			582.9
13	南知多町町民会館	社会教育系施設	図書館	567.6
14	梅原邸		博物館	384.1
15	尾州廻船内海船船主内田家		1,193.8	
16	南知多町総合体育館	スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	5,050.2
17	南知多町運動公園			183.2
18	南知多町観光案内所	産業系施設	産業系施設	111.7
19	内海観光センター			925.0
20	内海野外劇場			133.3
21	内海海岸東浜小桟緑地センターハウス			359.6
22	師崎港観光センター (付属施設を含む)			1,353.2
23	篠島渡船ターミナル (島の駅 SHINOJIMA)			485.8
24	日間賀島資料館			114.0
25	日間賀島渡船ターミナル (日間賀島ポート：ひまポ)			288.0
26	内海小学校	学校教育系施設	学校	4,257.7
27	豊浜小学校			5,181.0
28	旧大井小学校			3,840.8

番号	施設名	施設分類 (大分類)	施設分類 (中分類)	延床面積 (㎡)	
29	みさき小学校			4,035.5	
30	篠島小学校	学校教育系施設	学校	2,133.8	
31	日間賀小学校			3,406.8	
32	内海中学校			5,148.1	
33	豊浜中学校			6,213.6	
34	師崎中学校			5,142.5	
35	篠島中学校			2,764.1	
36	日間賀中学校			3,119.8	
37	旧篠島小学校(廃止)			1,764.6	
38	篠島教職員住宅(浦磯)			その他 教育施設	289.0
39	篠島教職員住宅(汐味)				256.0
40	日間賀島教職員住宅(北舎)		289.0		
41	日間賀島教職員住宅(南舎)		533.0		
42	南知多町学校給食センター			1434.8	
43	内海保育所		子育て支援施設	幼稚園・保育 園 ・こども園	1,114.7
44	かるも保育所	599.3			
45	大井保育所	575.9			
46	旧師崎保育所(廃止)	781.1			
47	日間賀保育所	580.3			
48	子育て支援センター・どんぐり園		幼児・児童施 設	—	
49	南知多町保健センター	保健福祉施設	保健施設	1,404.2	
50	山田老人憩の家		高齢福祉施設	205.7	
51	初神老人憩の家			72.9	
52	片名老人憩の家			70.7	
53	日間賀西老人憩の家			157.9	
54	篠島診療所	医療施設	医療施設	199.8	
55	日間賀島診療所			259.6	
56	南知多町役場	行政系施設	庁舎等	3,263.1	
57	内海サービスセンター			—	
58	師崎サービスセンター			—	
59	篠島サービスセンター			—	
60	日間賀島サービスセンター			—	
61	水防資材倉庫	行政系施設	その他 行政系施設	291.4	
62	日間賀島防災センター			防災・消防施 設	208.6
63	篠島防災センター		194.6		
64	内海防災センター		415.3		

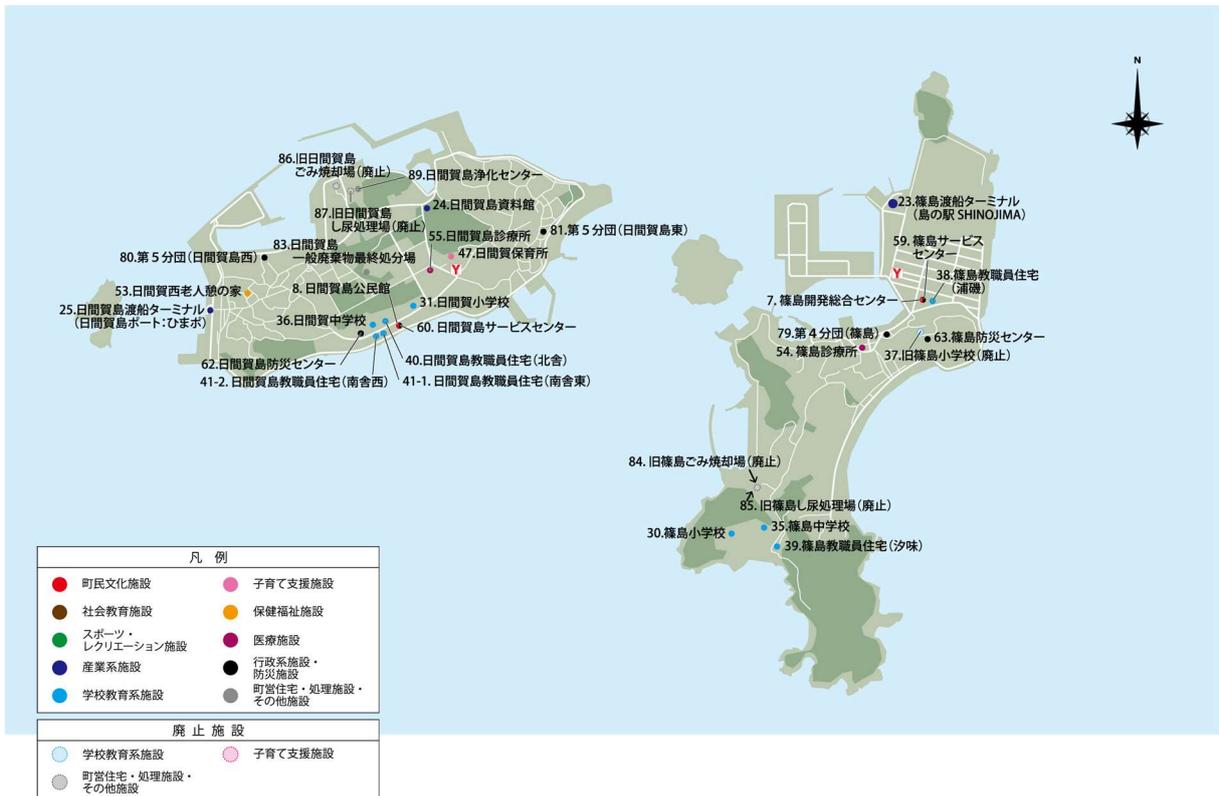
番号	施設名	施設分類 (大分類)	施設分類 (中分類)	延床面積 (㎡)
65	師崎避難所			6,460.5
66	豊浜防災センター			413.0
67	第1分団第1班(内海)	行政系施設	防災・消防施設	145.2
68	第1分団第2班(山海)			54.1
69	第2分団第1班(中洲)			131.5
70	第2分団第1班(中村)			98.1
71	第2分団第1班(東部)			68.4
72	第2分団第1班(小佐)			59.4
73	第2分団第1班(鳥居)			27.5
74	第2分団第2班(乙方)			49.5
75	第2分団第2班(山田)			55.1
76	第3分団第1班(大井)			120.0
77	第3分団第2班(片名)			99.4
78	第3分団第3班(師崎)			124.3
79	第4分団(篠島)			228.4
80	第5分団(日間賀島西)			81.1
81	第5分団(日間賀島東)			69.5
82	城下住宅(A棟、B棟、C棟)	町営住宅	町営住宅	488.4
83	日間賀島一般廃棄物最終処分場	処理施設	処理施設	237.9
84	旧篠島ごみ焼却場(廃止)			187.6
85	旧篠島し尿処理場(廃止)			45.6
86	旧日間賀島ごみ焼却場(廃止)			260.0
87	旧日間賀島し尿処理場(廃止)			45.6
88	南知多町師崎港駐車場	その他	その他	8,992.5
89	日間賀島浄化センター			815.2
90	旧南知多町学校給食センター(廃止)	学校教育系施設	その他教育施設	800.2
合計				101,238.1

2 位置図

【半島側】



【日間賀島・篠島】

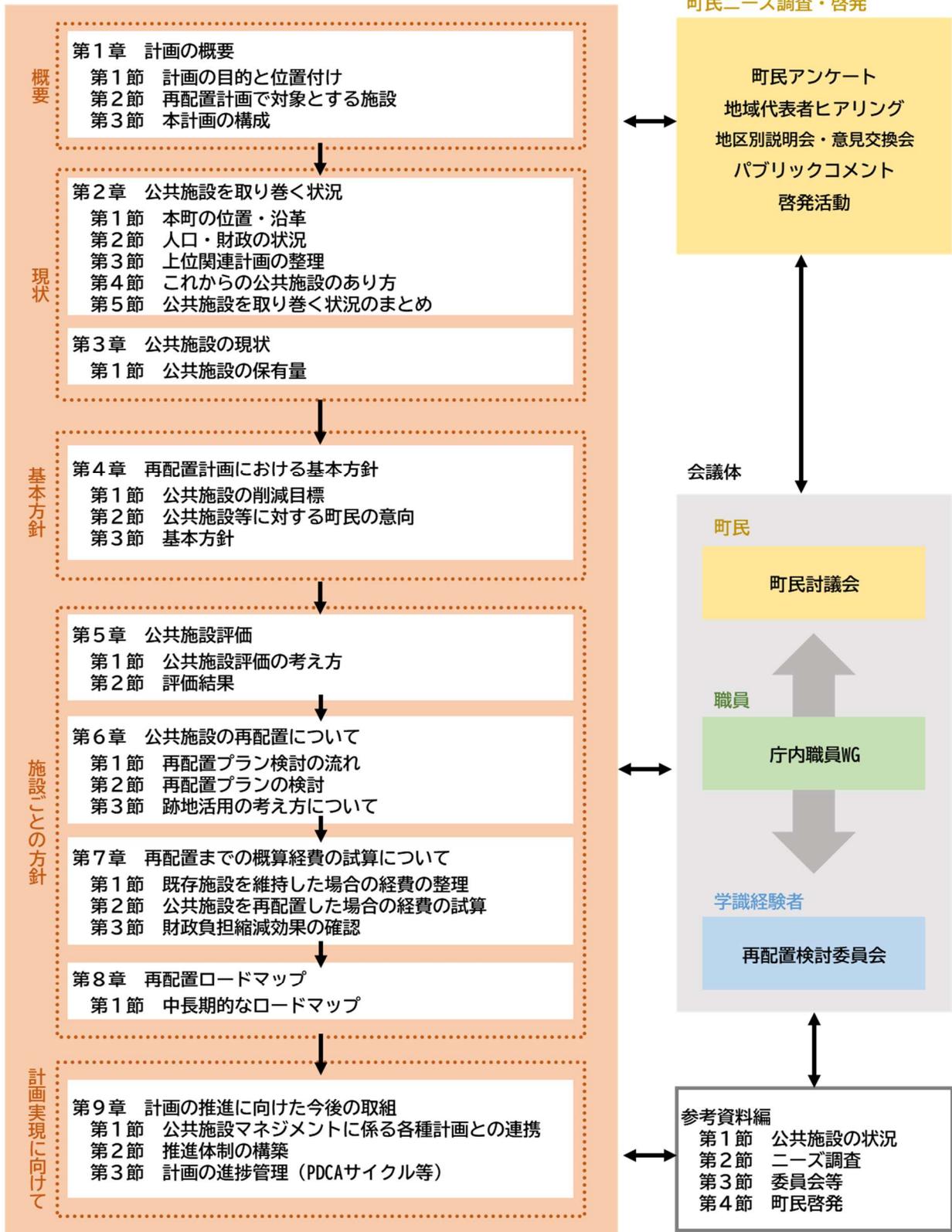


第3節 本計画の構成

本計画の構成は、以下のとおりです。

本計画は各種、町民ニーズ調査を実施した結果を踏まえ、町民・職員・学識経験者等が主体の会議体で検討を重ね、策定するものです。

南知多町公共施設再配置計画



第2章 公共施設を取り巻く状況

第1節 本町の位置・沿革

本町は、愛知県知多半島南部に位置し、半島の先端と沖合に浮かぶ篠島・日間賀島等の島々からなっています。北は美浜町、東は三河湾、南西は伊勢湾に面し、面積は38.37㎏あります。また、東西に15.0km、南北に12.1kmの町で、北西部の伊勢湾側には半島最高峰の高峰山128mがあり、北部に低く南部に高い地形となっています。昭和36年6月1日に当時の内海町、豊浜町、師崎町、篠島村、日間賀島村の5か町村の合併により誕生しました。

公共施設については、旧内海町、旧豊浜町、旧師崎町、旧篠島村、旧日間賀島村の単位の町内5地区に、公共施設を分類ごとに整備してきたため、同規模の自治体に比べ、多くの公共施設を有しています。

【本町の位置】



出典：データブック南知多 令和3年版、南知多町公共施設等総合管理計画

第2節 人口・財政の状況

1 人口状況

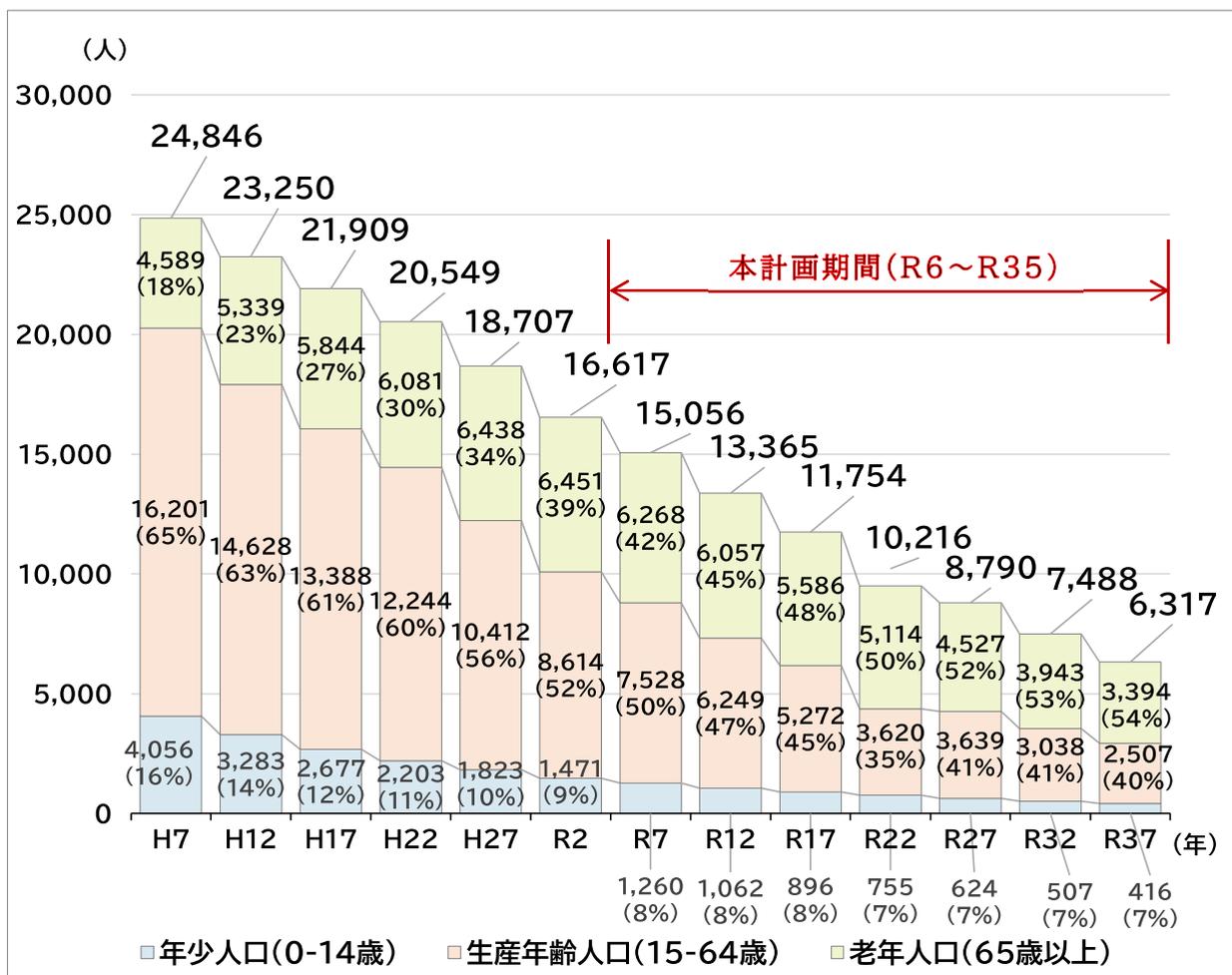
1) 人口推移と推計（年齢3区分）

昭和36年6月1日に知多半島南部の内海町、豊浜町及び師崎町並びに篠島村及び日間賀島村の5か町村が合併して本町が誕生して以来（当時29,654人）、現在に至るまで人口は減少し続けております。

国立社会保障・人口問題研究所による推計では、令和27年度に1万人を下回る8,790人まで減少し、現在の人口に対して、約半数の人口となると予測されており、総合計画においても減少を緩和させる必要があるとしています。

人口を年齢3区分別にみると、老年人口の割合が増え続ける一方で、生産年齢人口と年少人口は減少し続けており、本計画期間である令和35年付近には老年人口が総人口の半数程度となることが予想されています。

【年齢3区分別人口の推移と将来推計】



出典：令和2年以前：国勢調査、令和7年以降：国立社会保障・人口問題研究所

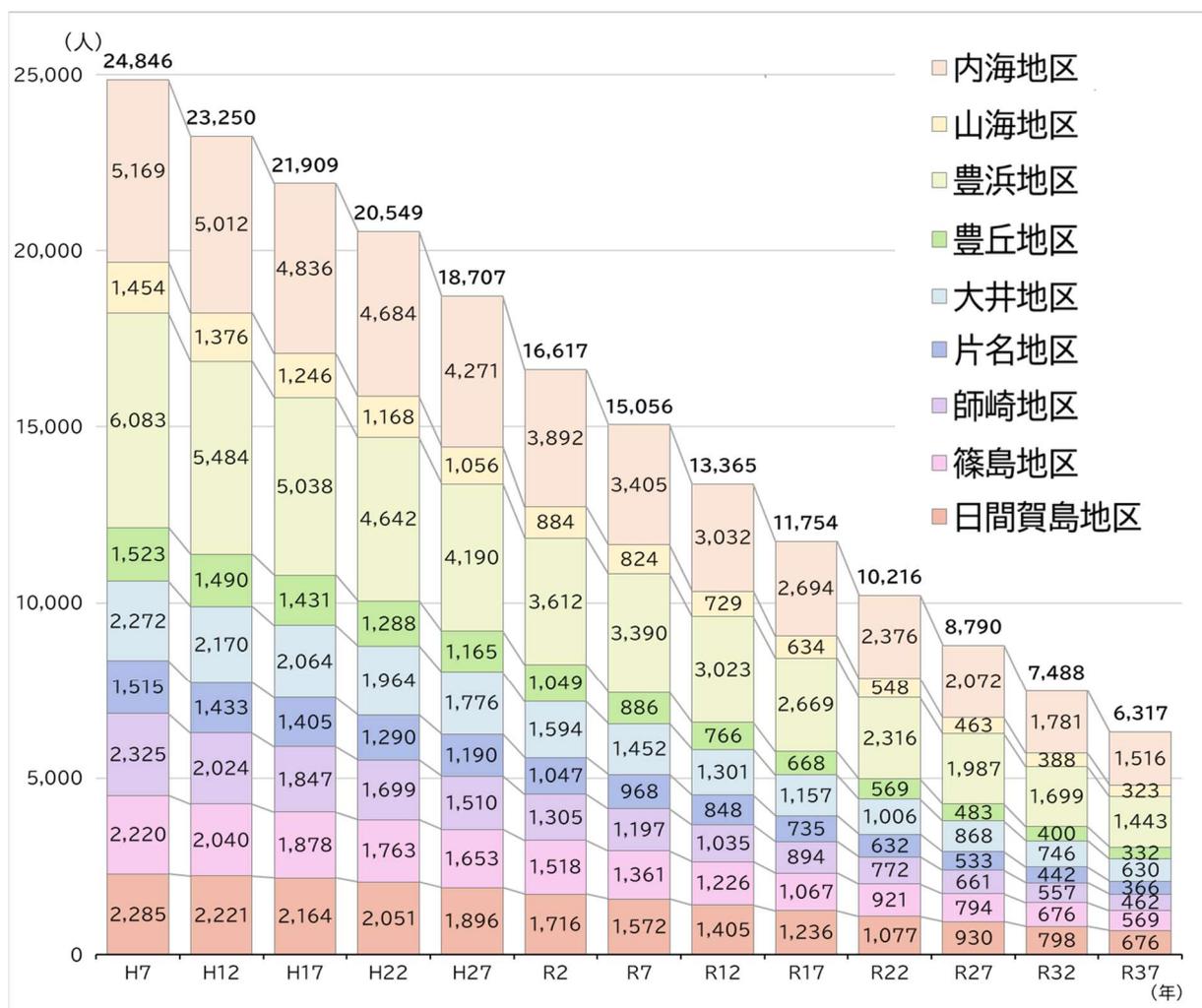
2) 地区別人口

地区別の人口推移をみると、各地区とも緩やかな減少傾向にあります。

9地区の中で人口が一番多い地区は、令和2年時点で内海地区の3,892人となっており、一番少ない地区は山海地区の884人となっています。

また、国立社会保障・人口問題研究所による推計では、令和37年には令和2年の4割程度の人口にまで減少するとされています。

【地区別人口推移と将来推計】



出典：令和2年以前：国勢調査、令和7年以降：国立社会保障・人口問題研究所

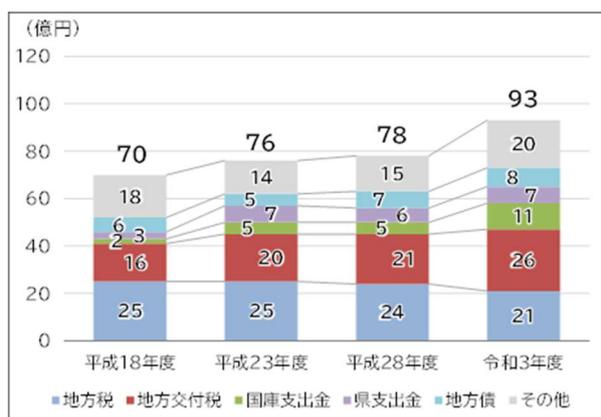
2 財政状況

1) 歳入・歳出

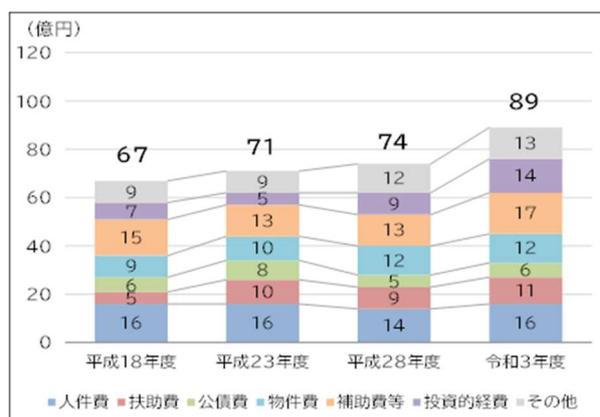
平成 18 年度から 5 年度ごとの財政状況をみると、歳入及び歳出共に年々増加しています。しかし、歳入においては、本町の人口減少に伴い、地方税の割合が低下しており地方債等で補っている状況です。また、地方税のように用途が特定されておらず経常的に収入される一般財源が減少傾向にあるため、今後、人口減少がますます進行していくことで、財政の硬直化が進行していくと予想されます。

また、歳出の内訳をみると、特に扶助費が増加しており、平成 18 年度から令和 3 年度にかけて、約 2.2 倍の経費を要しています。今後も、少子・高齢化社会において、子育て支援に係る費用や福祉・医療などの社会保障経費が増加していくことが見込まれるため、公共施設の維持管理や更新に充てられる投資的経費の捻出は厳しくなっていくものと考えられます。

【歳入の推移】



【歳出の推移】



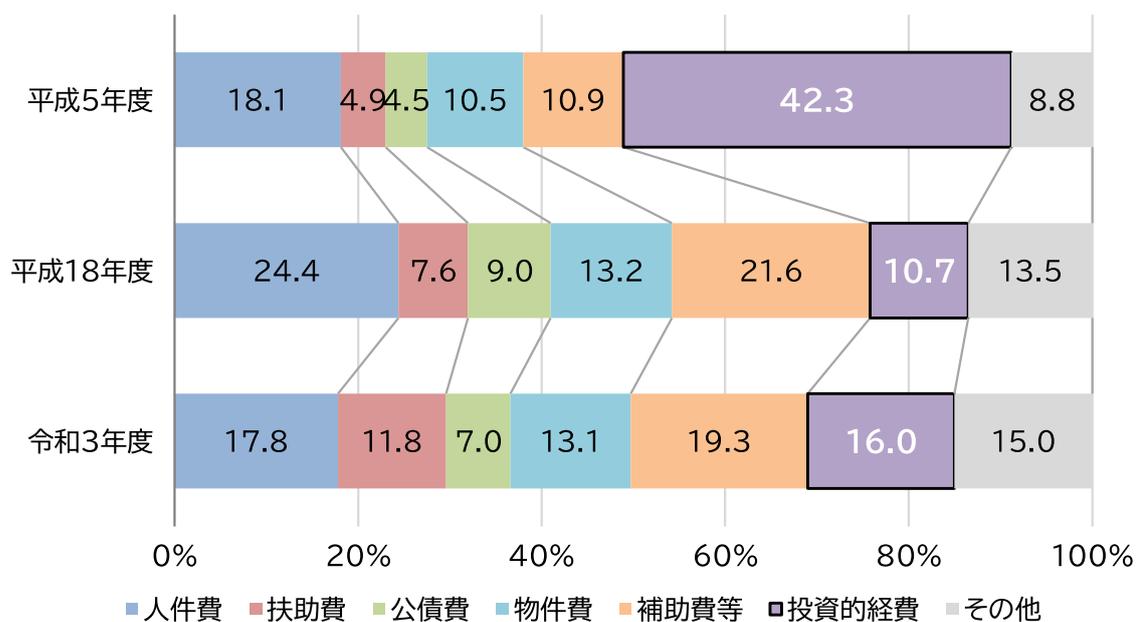
出典：総務省 普通会計決算カード

2) 投資的経費

公共施設等の整備に係る代表的な費用である投資的経費の金額は減少傾向にあります。

過去 30 年間のうち、投資的経費のピークであった平成 5 年度と令和 3 年度決算を比較すると、歳出全体に占める投資的経費の支出割合は約 26%減少となっています。これは、先の平成 18 年度から令和 3 年度の決算状況と同様に主に扶助費の増加によるものです。

【投資的経費の推移】



出典：総務省 普通会計決算カード

第3節 上位関連計画の整理

本町の上位関連計画における公共施設に係る方向性を以下に整理します。

総合計画をはじめとして、持続可能な公共施設の実現に向けて、統廃合・複合化等の再編の検討や、広域連携・官民連携の検討が示されています。

【上位関連計画の整理】

第7次南知多町総合計画（令和3年3月）
<ul style="list-style-type: none">○保育所再配置を検討し、適正な児童数での保育所運営、公園環境の維持管理、歩道の整備などを進めます。○「南知多町立小中学校適正規模・適正配置基本計画」に沿って、学校の適正配置、規模の適正化を進めていきます。老朽化状況の把握、各学校施設の改築、長寿命化を行っていくための、長寿命化計画を策定します。○老朽化した観光施設などの適切な管理を行うとともに、集客が見込まれる観光センターなどのインフラ整備を検討します。○必要な消防・防災施設などを維持していきます。○公共施設の耐震化を進め、住宅などの耐震化を支援するとともに、避難路の整備を進めます。○伝統・文化・スポーツ施設などの今後必要となる公共施設再配置方針を定め、施設の再配置や長寿命化、修繕を進めます。○インフラ、建物などの公共施設について、人口・財政の長期的な見通しに基づき、重要なものは維持しつつ、人口規模などに応じた適切な水準への再編を進めます。また、将来の維持管理費を削減するための長寿命化などの対策を進めます。現在、本町が直営で実施しているサービスについて、コスト削減やサービスの向上、より効率的な業務が期待できる場合は、民間活用を検討します。
南知多町公共施設等総合管理計画（平成29年3月（令和4年3月改訂））
<ul style="list-style-type: none">○今後の少子高齢化や人口減少に伴い、利用者が減少する施設については、利用形態など機能の観点を含め、統合や複合化を選択肢として検討します。○民間との競合が激しい施設や実質的な管理運営を民間が行っている施設は、民間への譲渡を含め検討します。○民間活用が可能な施設は、指定管理者や包括的民間委託等を検討します。○統合・廃止は駅周辺などの利便性が高い場所や、地域の核となる小中学校に拠点的な複合施設を整備するなど、利用者に付加価値を提供できるような集約化を行います。○広域的な連携や施設の共同利用の可能性検討や民間活力の活用検討も行います。
南知多町立小中学校適正規模・適正配置基本計画（令和3年1月）
<ul style="list-style-type: none">○小学校では将来複式学級が懸念される学校を統合することとするが、それ以外の学校については、単式学級が確保できるよう努め、当面の間は存置することとして小規模校のメリットを最大限に生かす方策、デメリットの解消策や緩和策を積極的に検討、実施します。○中学校については、1学年に複数の学級があることが望ましいことから、課題を検討しながら、段階をおって再編統合を進めていくこととします。○今後、建物の老朽化に伴い建て替えが必要となる学校については、財政状況や学校施設整備計画を踏まえ、統合時期を検討していくこととします。

第4節 これからの公共施設のあり方

1 持続可能な開発目標（SDGs）の実現を目指して

平成27年9月、国連サミットで持続可能な開発目標（SDGs）が採択されました。

この目標は、「誰一人として取り残さない」世界の実現を理念に持続可能な社会を実現するため、経済、社会、環境をめぐる広範囲な課題に対する統合的な取り組みが示されています。令和12年を期限とし、17のゴールから構成されています。

総合管理計画では、公共施設等の管理に関する基本方針でSDGsとの関係を示しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 目標3【すべての人に健康と福祉を】
 あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
- 目標4【質の高い教育をみんなに】
 すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。
- 目標9【産業と技術革新の基盤をつくろう】
 強靱(レジリエント)なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新(イノベーション)の拡大を図る。
- 目標11【住み続けられるまちづくりを】
 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱(レジリエント)かつ持続可能にする。
- 目標13【気候変動に具体的な対策を】
 気候変動とその影響に立ち向かうため緊急対策を講じる。

出典：南知多町公共施設等総合管理計画

3 Society 5.0の実現に向けた持続可能な地域づくりを目指して

近年では、第四次産業革命（IoT、ビッグデータ、人工知能（AI）、自動運転、シェアリングエコノミー等）のイノベーションが急激に起きており、それらをあらゆる産業や社会に取り入れることにより、様々な社会課題を解決する「Society5.0」を実現することが求められています。

そのため、これからの公共施設の再配置においては、Society5.0の実現に向けて、最新のICTを活用するとともに、行政サービスのデジタル化やオンライン化、新たな暮らし方・働き方を踏まえた公共施設の機能のあり方、規模の設定等について検討することが必要です。

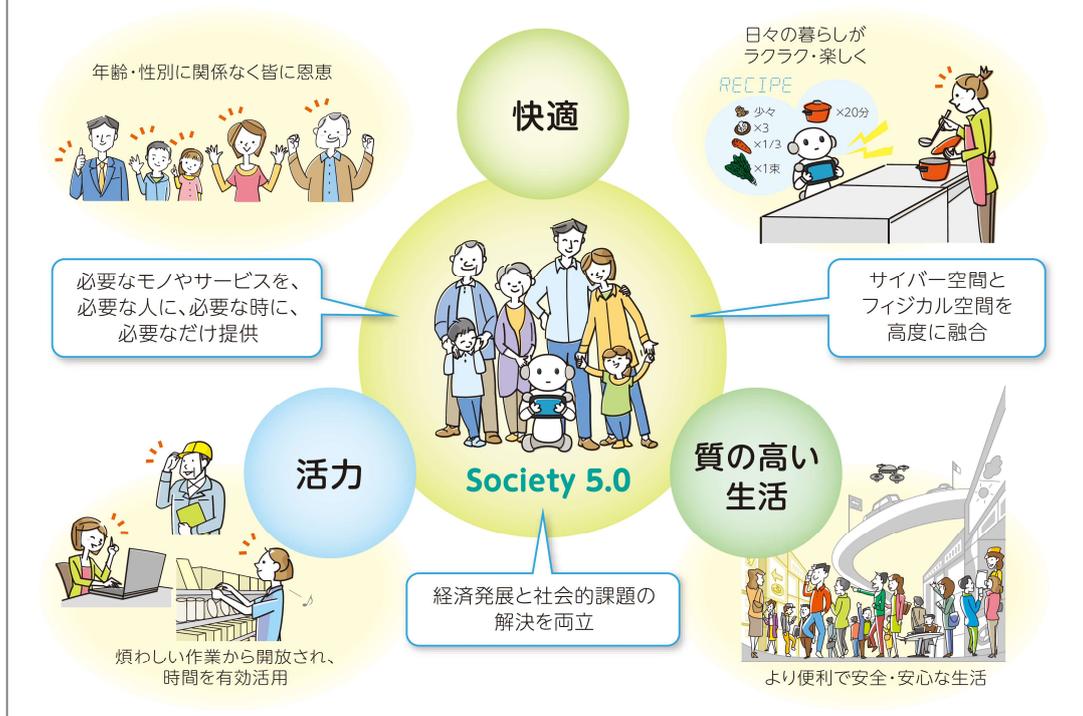
また、公共施設の再配置と連動させて、周辺の遊休スペース（空き家・空きビル、空き地）等を有効活用しながら地域の課題解決や公共空間の充実を図る視点も求められます。

(3) 技術革新による社会の変化

国の第5期科学技術基本計画では、Society5.0^{*2}仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する社会の実現を提唱しています。

Society5.0で実現する社会は、IoT（Internet of Things：全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有されること）により、今までにない新たな価値を生み出し、少子高齢化や地方の過疎化などの課題を克服することが期待されます。

そのため、本町においても、Society5.0による社会変化を想定した上で、既存の行政運営の在り方を見直す必要があります。



出典：第7次南知多町総合計画

4 公共交通網と MaaS を活用した移動利便性の向上を目指して

近年では、ICT 技術の発展に伴い、バスや鉄道、タクシー、シェアサイクルなどあらゆる公共交通機関を ICT にてシームレスに結びつけ、最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス MaaS（マース：Mobility as a Service）の取組みが推進されています。

「南知多町地域公共交通計画」では、公共交通の検索システムやバス・高速船の企画切符の取組の拡大等により MaaS の実現を目指すとしており、日間賀島では令和 2 年に「離島における観光型 MaaS による移動」をテーマに自動運転の実証実験も実施されています。

公共施設の再配置においては、これら公共交通網と新たな技術を活用した公共交通サービスの充実化を踏まえた、施設へのアクセシビリティ向上を図り、さらなる利便性の向上に努める必要があります。

トピックス

自動運転の実証実験を実施（日間賀島）

「離島における観光型 MaaS による移動」をテーマに、愛知県が日間賀島において自動運転の実証実験を実施しました。名古屋から日間賀島までの鉄道と船舶の乗り継ぎ情報、島内の自動運転バスの運行時間、シェアサイクル（共用の自転車）、観光情報をスマートフォン等に一元的に提供しました。また、将来の自動運転サービスによる輸送の実現を見据え、自動運転車両（マイクロバス）を使って、大型自動車第二種免許の保有者が運転席に乗車、監視する形で運行を行いました。

○令和 2 年 1 月 25 日（土）～27 日（月）



※愛知県 HP より

出典：南知多町地域公共交通計画

5 脱炭素化を目指して

近年、歴史に例を見ない地球温暖化が進行しており、この影響による大雨や短時間強雨の頻発等により、世界中で洪水や土砂災害等の気象災害が激甚化・頻発化しています。この気候変化の要因として、人間の活動による温室効果ガスの排出等の影響が指摘されています。このような、気候変動による気象災害リスクに的確に対応していくため、防災・減災対策に加え、気候変動そのものの緩和策として、脱炭素化に向けた取組みが必要不可欠となっています。

そこで、「気候変動とわたしたちの暮らし」をテーマとして取り上げ、2050年カーボンニュートラル目標の達成に向け、脱炭素化に向けた取組みが求められています。

国土交通省では、「脱炭素化に資するまちづくりに向けた取組みの課題と方向性」として、集約型のまちづくり、グリーンインフラを活用した脱炭素型まちづくり、デジタル技術や民間資金による環境に配慮した都市開発等の下記の課題を提示しています。

集約型まちづくり

- 市街地の拡散は環境負荷の軽減の側面からも課題であり、集約型のまちづくりが必要である。歩いて暮らせるまちづくりや公共交通の整備により自家用車に過度に依存しない移動環境を整え脱炭素化を図るとともに、生活の利便性の観点からも、都市機能が集約し人々が集まるような魅力的な市街地の形成が重要である。

グリーンインフラを活用した脱炭素型まちづくり

- 緑地、水辺保全・再生等を通じ、居住環境の改善とともに、地球環境負荷の軽減を図る必要がある。

デジタル技術や民間資金による環境に配慮した都市開発

- デジタル技術を活用したエネルギー融通の効率化を図ることや、人流・交通データ等を活用し、エリア内の二酸化炭素排出量を見える化し、脱炭素対策の検討を行う等が重要である。

出典：令和4年版国土交通白書 概要

「南知多町都市計画マスタープラン」では、地域づくりの方針のひとつに、幹線道路の歩道や海岸を活用しながら散策ルートを整備することを掲げています。

本計画において、まちの重要な機能をもつ公共施設を再編・再配置するにあたって、機能を各拠点に集中させながらも「歩いて暮らせる」まちを実現する必要があります。また、まちの活性化のためには、居心地がよく歩きたくなることに加え、消費行動を促進するなど地域経済を好循環させることも必要です。

そのため、公共施設の再配置のほかに、行政サービスのデジタル化やオンライン化を推進するとともに、街路空間の再構築・利活用、民間の商業施設等の立地や経済循環を考えていく必要があります。

第5節 公共施設を取り巻く状況のまとめ

第2章での結果を以下に整理します。

- 人口状況は今後も減少していく見通しであるとともに、高齢化や少子化が進行します。地区別にみても、各地区減少していく見通しです。
- 今後、人口減少が進行して税収が減少することを踏まえると、公共施設を維持・更新する経費が不足し、今後、公共施設を現在の規模のまま、大規模改修や建替え等を行っていくことは到底困難です。
- このような人口や財政状況の中、持続可能な公共施設の実現に向けて、上位計画である総合計画や総合管理計画等の中で、統廃合や複合化等の公共施設再配置の方向性が示されています。
- その際には、SDGsをはじめとして、アフターコロナや Society5.0 といった社会情勢や、ウォークブル、MaaS、脱炭素化などの新たな社会的要求事項の視点も持ち、合わせて検討することも重要です。

第3章 公共施設の現状

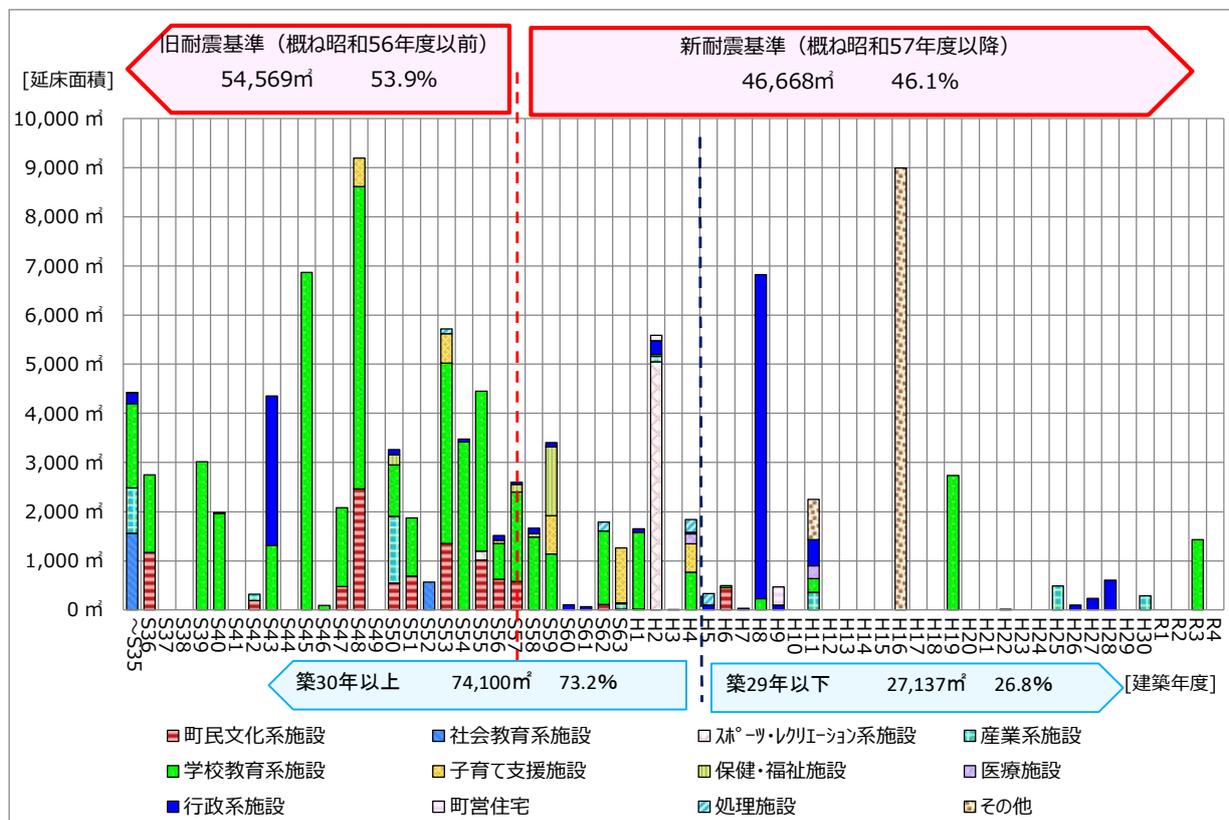
第1節 公共施設の保有量

1 施設保有量の推移

本町において、昭和の時代に学校教育施設をはじめ町民文化系施設や行政系施設の多くの施設が整備されてきました。そのため、築30年以上の施設が73.2%を占めており、老朽化の進行から、近い将来一斉に更新時期を迎え、多額の費用が必要になることが見込まれます。

近年では、渡船ターミナル、防災センター及び学校給食センターの整備が進んでいます。

【公共建築物 建築年度別延床面積】



出典：南知多町公共施設等総合管理計画を基に作成

2 総合管理計画改定前後の保有量

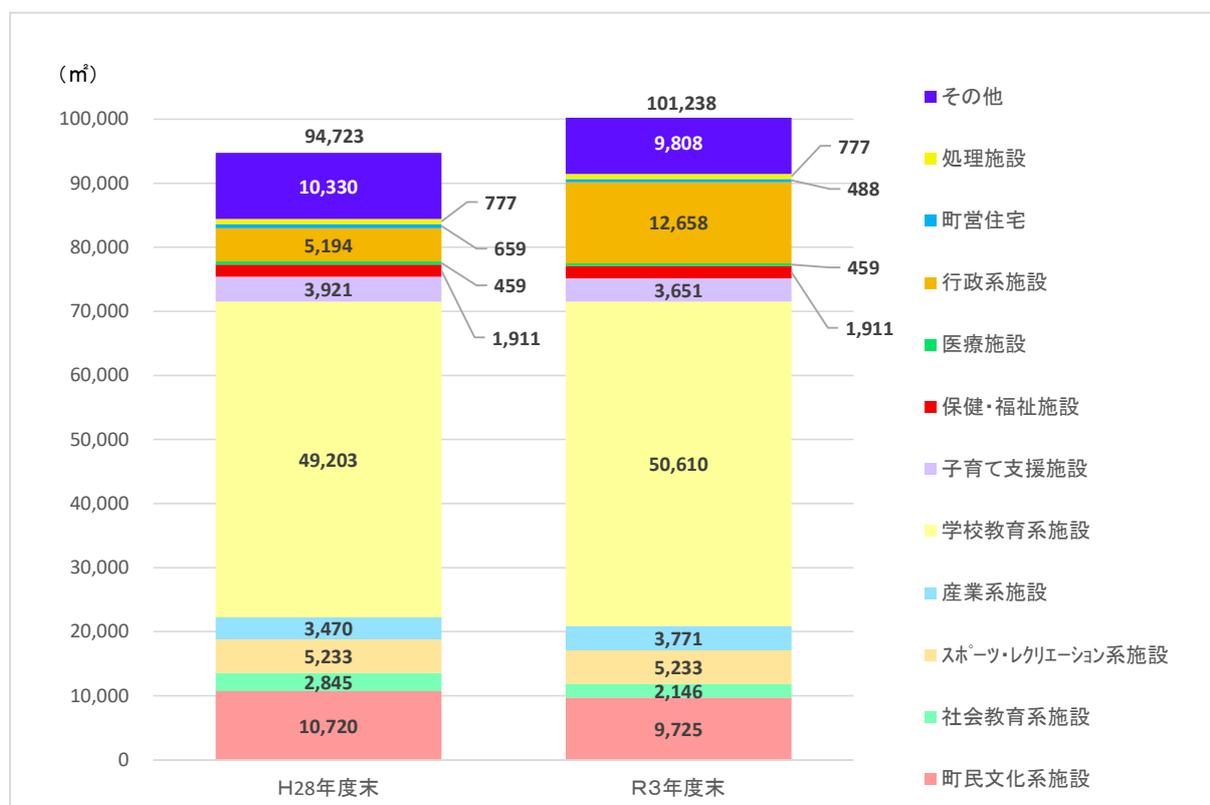
平成 29 年 3 月に策定された総合管理計画ですが、策定時における公共建築物の総延床面積は 91 施設（94,723 ㎡）ありました。対して、令和 3 年度に行われた総合管理計画の改訂時には 89 施設（99,803 ㎡）となっています。

総合管理計画策定後、篠島防災センター（平成 28 年度）、内海防災センター（平成 28 年度）、日間賀島渡船ターミナル（平成 30 年度）及び学校給食センター（令和 3 年度）を新設しました。また、師崎避難所（平成 29 年度）及び豊浜防災センター（平成 30 年度）を売買により取得しました。

一方で、南知多町郷土資料館（平成 30 年度）、旧日間賀島共同調理場（平成 30 年度）、旧片名保育所（平成 30 年度）、豊丘むくろじ会館特別校舎等（令和元年度）、旧子育て支援センター（令和元年度）、町営住宅（広地住宅）（令和 2 年度）の解体を実施しました。

これによって、老朽化施設の除去により施設数は減少したものの、いまだ廃止された施設のうち、除去が済んでいない施設が残っており、総床面積は増加し、90 施設（101,238 ㎡）となっています。

【公共施設保有量（延床面積）の推移】



出典：南知多町公共施設等総合管理計画を基に作成

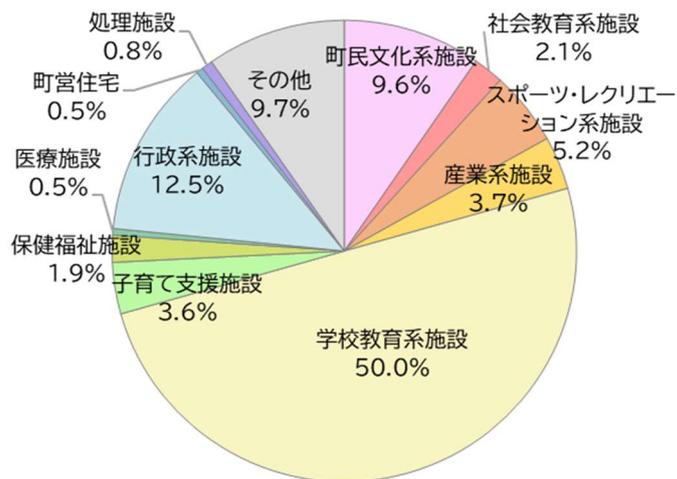
3 用途分類別保有量

本町の公共施設延床面積を施設分類別で見ると、50.0%を学校教育系施設が占めています。次に行政系施設が12.5%、町民文化系施設、その他がそれぞれ約10%となっています。

施設数で見ると行政系施設が26施設と最も多く、次に学校教育系施設が18施設、町民文化系施設が12施設となっています。

【施設分類別延床面積】

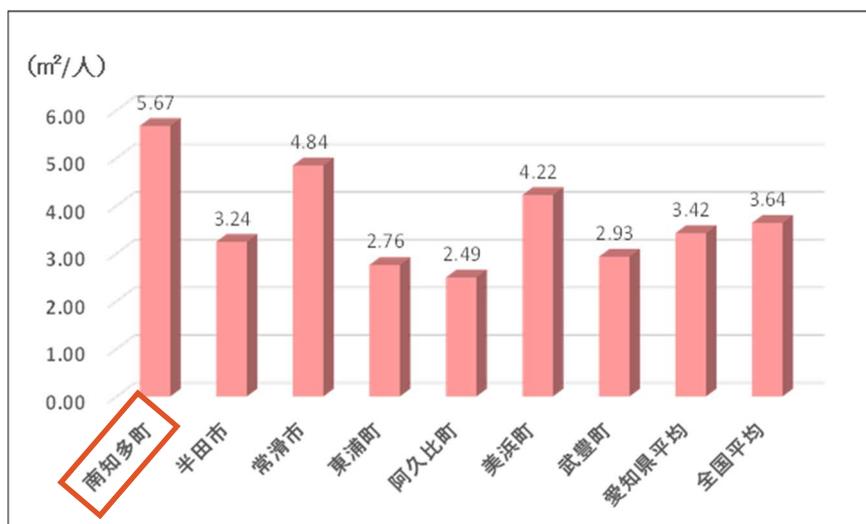
施設分類（大分類）	施設数	延床面積（㎡）
町民文化系施設	12	9,725.4
社会教育系施設	3	2,145.5
スポーツ・レクリエーション系施設	2	5,233.4
産業系施設	8	3,770.6
学校教育系施設	18	50,610.3
子育て支援施設	6	3,651.3
保健福祉施設	5	1,911.4
医療施設	2	459.4
行政系施設	26	12,658.0
町営住宅	1	488.4
処理施設	5	776.7
その他	2	9,807.7
合計	90	101,238.1



4 人口1人当たりの延床面積

本町の人口1人当たりの延床面積は5.67㎡/人となっています。これは近隣自治体、愛知県平均、全国平均と比較すると高い水準にあると言えます。

【人口1人当たりの公有財産（建物）延床面積】



出典：公有財産延床面積：総務省 公共施設状況調（令和2年度）、
人口：あいちの人口（人口動向調査（令和3年4月）

5 地区別の公共施設保有状況

(1) 地区別・分類別総保有面積

地区別の総保有面積をみると、大井・片名・師崎地区が最も大きく 32,951.50 m²、篠島地区が最も小さく 9,564.20 m²となっています。また、各地区共に学校教育施設が最も多くの割合を占めています。

内海・山海地区には、南知多町公民館内海分館や、旧学校施設を活用した山海ふれあい会館等の貸館業務を提供する町民文化系施設の割合が大きくなっています。

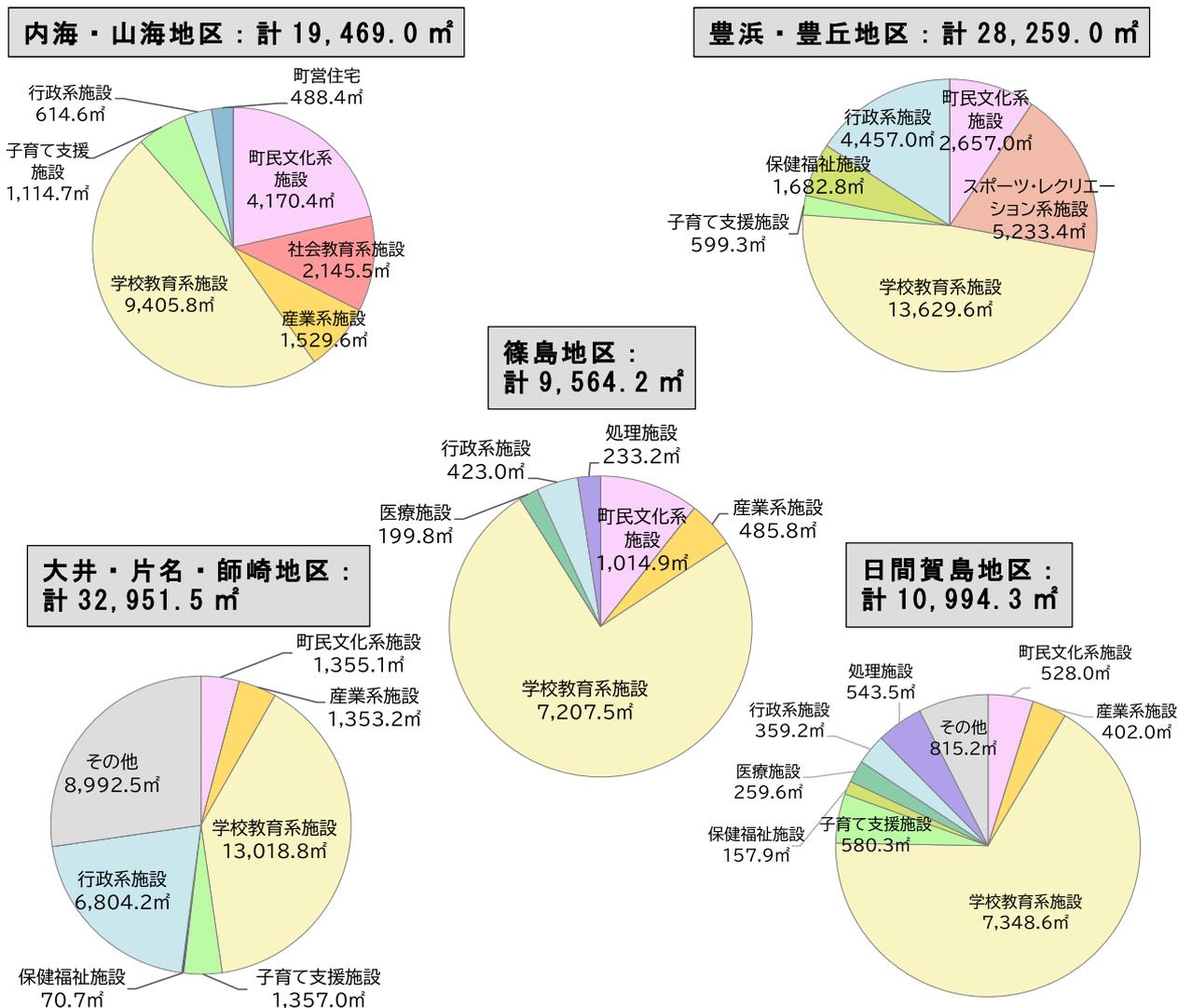
豊浜・豊丘地区には、南知多町役場や南知多町保健センターが立地しており、それぞれ行政系施設、保健福祉施設の割合が大きくなっています。

大井・片名・師崎地区には、半島と篠島及び日間賀島を結ぶフェリー乗り場に付属する南知多町師崎港駐車場が立地しており、その他施設の割合が多くなっています。

篠島地区及び日間賀島地区は他の地区と比較して学校教育施設の割合が大きくなっています。また、離島の特性から、医療サービスの提供として診療所を有しています。

【地区別・施設分類別総保有面積】

※端数処理のため内訳と合計が一致しない場合があります。



(2) 地区別機能別保有状況

本町の保有施設は主として全町民が利用する全町施設と地区住民が利用する地区施設及び観光客が利用する観光施設があります。地区別に整理したものが以下のとおりです。

【地区別機能別保有状況】

地区	機能	文化	学習・交流	運動	福祉	子育て	学校教育	行政	防災	社会教育	観光	医療	公営住宅	その他
内海・山海地区		◎◎	●○ ○○ ○	●○		○	○○	○	○○ ○	●○	◎◎ ◎◎		※	
豊浜・豊丘地区			●○ ○○ ○○	●● ○	○○	○○	○○ ※	●	○○ ○○ ○○ ○○ ○			●		
大井・片名・師崎地区			○○		○	○	○○ ※	○	○○ ○○	○	◎◎			◎◎
篠島地区			○				○○ ※※	○	○○		◎◎	○		
日間賀島地区			○		○	○	○○ ※※	○	○○ ○	◎	◎◎	○		○

●：全町施設、○：地区施設、◎：観光客向け施設、※利用者が特定される施設

【参考：地区別保有施設・機能一覧】

内海・山海地区	文化	学習・交流	運動	福祉	子育て	学校教育	行政	防災	社会教育	観光	医療	公営住宅	その他	主な利用対象者
南知多町公民館内海分館		○												地区の方
山海公民館		○												地区の方
山海ふれあい会館		○	○						○					地区の方
南知多町町民会館		●	●						●					全町民の方
梅原邸	◎													観光客
尾州廻船内海船主内田家	◎													観光客
南知多町観光案内所										◎				観光客
内海観光センター										◎				観光客
内海野外劇場										◎				観光客
内海海岸東浜小樹緑地センターハウス										◎				観光客
内海小学校						○								児童
内海中学校						○								生徒
内海保育所					○									地区の方
内海サービスセンター							○							地区の方
内海防災センター		○						○						地区の方
第1分団第1班（内海）								○						消防団員
第1分団第2班（山海）								○						消防団員
城下住宅（A棟、B棟、C棟）												※		入居者の方

豊浜・豊丘地区	文化	学習・交流	運動	福祉	子育て	学校教育	行政	防災	社会教育	観光	医療	公営住宅	その他	主な利用対象者
南知多町公民館		○												地区の方
豊丘むくろじ会館		○	○											地区の方
若子会館		○												地区の方
旧中洲保育所		○												地区の方
南知多町総合体育館		●	●											全町民の方
南知多町運動公園			●											全町民の方
豊浜小学校						○								児童
豊浜中学校						○								生徒
南知多町学校給食センター						※								児童生徒
かるも保育所					○									地区の方
子育て支援センター・どんぐり園					○									地区の方
南知多町保健センター											●			全町民の方
山田老人憩の家				○										地区の方
初神老人憩の家				○										地区の方
南知多町役場							●							全町民の方
水防資材倉庫								○						地区の方
豊浜防災センター		○						○						地区の方
第2分団第1班(中洲)								○						消防団員
第2分団第1班(中村)								○						消防団員
第2分団第1班(東部)								○						消防団員
第2分団第1班(小佐)								○						消防団員
第2分団第1班(鳥居)								○						消防団員
第2分団第2班(乙方)								○						消防団員
第2分団第2班(山田)								○						消防団員
旧南知多町学校給食センター(廃止)														—

大井・片名・師崎地区	文化	学習・交流	運動	福祉	子育て	学校教育	行政	防災	社会教育	観光	医療	公営住宅	その他	主な利用対象者
大井公民館		○												地区の方
師崎公民館		○												地区の方
師崎公民館児童図書分館									○					地区の方
師崎港観光センター (付属施設を含む)										◎ ○				観光客・島民
旧大井小学校														—
みさき小学校						○								児童
師崎中学校						○								生徒
大井保育所					○									地区の方
旧師崎保育所(廃止)														—
片名老人憩の家				○										地区の方
師崎サービスセンター							○							地区の方
師崎避難所								○						地区の方
第3分団第1班(大井)								○						消防団員
第3分団第2班(片名)								○						消防団員
第3分団第3班(師崎)								○						消防団員
南知多町師崎港駐車場													◎ ○	観光客・島民

篠島地区	文化	学習・交流	運動	福祉	子育て	学校教育	行政	防災	社会教育	観光	医療	公営住宅	その他	主な利用対象者
篠島開発総合センター		○												地区の方
篠島渡船ターミナル (島の駅 SHINOJIMA)										◎ ○				観光客・島民
篠島小学校						○								児童
篠島中学校						○								生徒
旧篠島小学校(廃止)														—
篠島教職員住宅(浦磯)						※								教職員
篠島教職員住宅(汐味)						※								教職員
篠島診療所											○			地区の方
篠島サービスセンター							○							地区の方
篠島防災センター								○						地区の方
第4分団(篠島)								○						消防団員
旧篠島ごみ焼却場(廃止)														—
旧篠島し尿処理場(廃止)														—

日間賀島地区	文化	学習・交流	運動	福祉	子育て	学校教育	行政	防災	社会教育	観光	医療	公営住宅	その他	主な利用対象者
日間賀島公民館		○												地区の方
日間賀島資料館									◎					観光客
日間賀島渡船ターミナル (日間賀島ポート:ひまポ)										◎ ○				観光客・島民
日間賀小学校						○								児童
日間賀中学校						○								生徒
日間賀島教職員住宅(北舎)						※								教職員
日間賀島教職員住宅(南舎)						※								教職員
日間賀保育所					○									地区の方
日間賀西老人憩の家				○										地区の方
日間賀島診療所											○			地区の方
日間賀島サービスセンター							○							地区の方
日間賀島防災センター								○						地区の方
第5分団(日間賀島西)								○						消防団員
第5分団(日間賀島東)								○						消防団員
日間賀島一般廃棄物最終処分場													○	地区の方
旧日間賀島ごみ焼却場(廃止)														—

第4章 再配置計画における基本方針

第1節 公共施設の削減目標

1 削減目標

公共施設の適正な配置を進めていくにあたって、削減目標値については、上位計画である公共施設等総合管理計画に基づき、下記のとおりとします。

削減目標

令和35年度までに公共施設の総延床面積を50%削減します。

2 削減目標の考え方

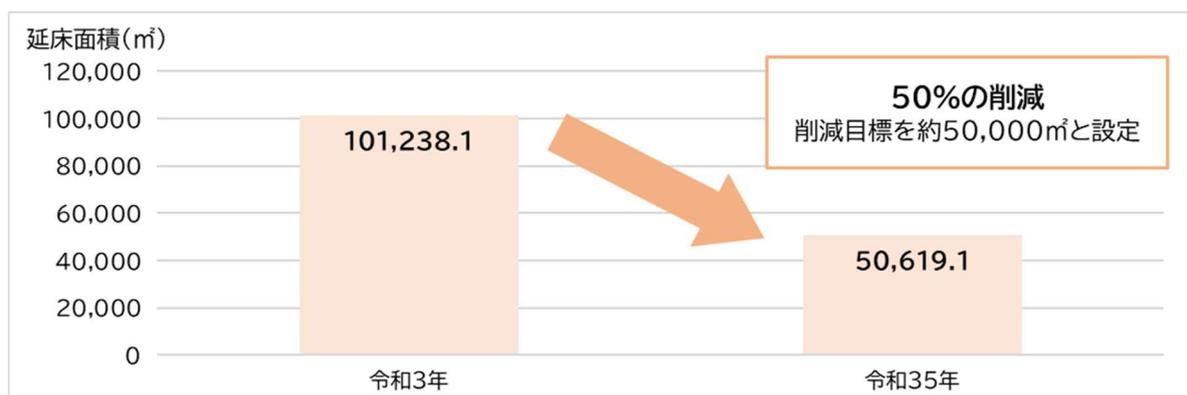
本町の将来目標人口は、令和30年時点で概ね10,000人の人口を維持することとされています。これは、30年後の人口が、平成27年国勢調査時点の18,707人の半分以下にならないように設定したもので、およそ47%減少することになります。国立社会保障・人口問題研究所による推計値は、令和32年度時点で7,488人とされており、およそ60%減少すると予測されています。これらの人口推計を踏まえ、施設の総量は「約53%」に削減する必要があります。

本町の財政状況については、歳入のうち、自主財源である税収や普通交付税が人口減少に伴い減少する見込みであることから、維持管理費及び更新等に係る経費は「5億円程度（約30%）」に削減する必要があります。

公共施設及びインフラ資産の将来の更新費用の比較分析に関する調査結果（総務省：平成24年3月）にある10-30千人規模の自治体平均5.24㎡（人口1人当たりの延床面積）を目標とすると、施設の総量は「約52%」に削減する必要があります。

以上のことを踏まえ、本計画では、令和35年度までに、施設総量を床面積比で「50%」と設定し、約50,000㎡削減を目標とします。

【削減目標（総延床面積）の設定】



第2節 公共施設等に対する町民の意向

1 南知多町公共施設に関するアンケート調査

1) 調査目的及び概要

公共施設の利用状況や満足度、再配置に対する町民意向を把握するため、南知多町公共施設に関するアンケート調査を実施しました。

対象	16歳以上の南知多町民を対象に無作為に2,000人を抽出
回答期間	2022年8月24日～2022年9月16日
回答方法	紙面回答もしくはweb回答
回答数	642件（紙面533件、web109件）

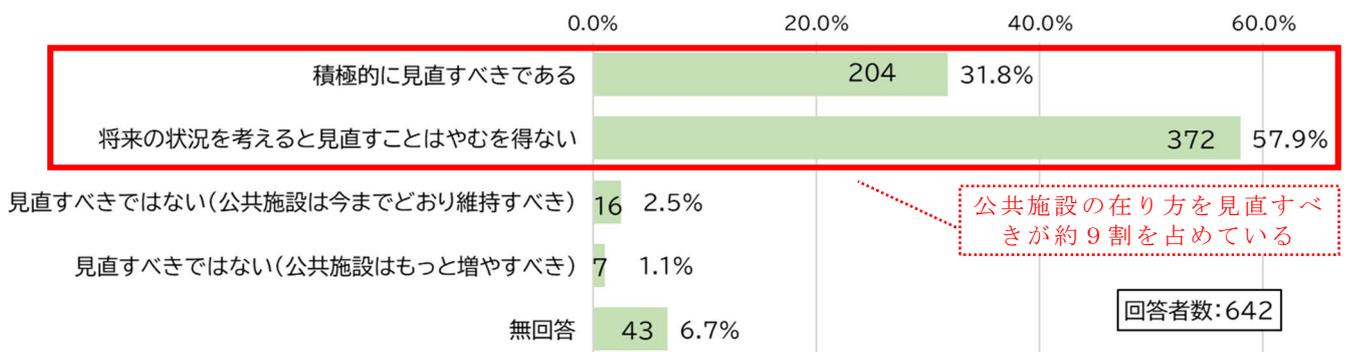
2) 主な設問及び結果

問1) 公共施設のあり方について

近い将来、少子高齢化や人口減少が進み、これまでに経験のない厳しい財政状況を迎えていくことが予想されています。また、人口構成や社会状況の変化により、求められるサービスや量が変わっていくことも想定されます。このことを踏まえ、「将来を見据えて公共施設のあり方を見直していく（南知多町全体の施設総量を削減することも含む）ことについてどのようにお考えですか」との問いに対して、「将来の状況を考えると見直すことはやむを得ない」と答えた方が最も多く（57.9%）、次に「積極的に見直すべきである」（31.8%）、「見直すべきではない（公共施設は今までどおり維持すべき）」（2.5%）、「見直すべきではない（公共施設はもっと増やすべき）」（1.1%）となっています。

これより、約9割の方が公共施設のあり方の見直しを支持していることがわかります。

【公共施設のあり方について・単数回答】



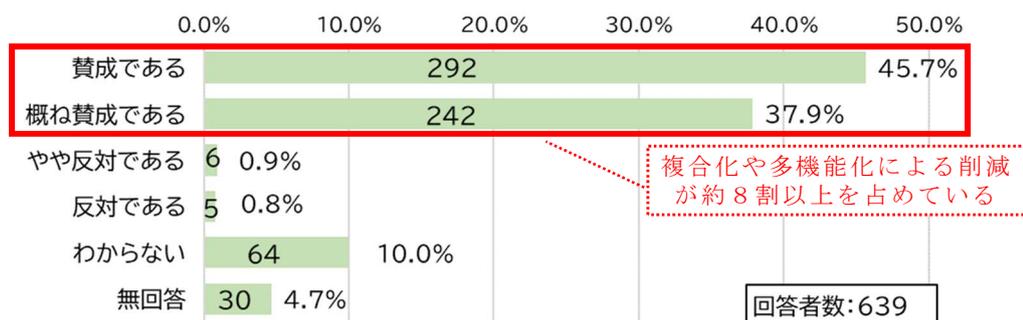
問2) 施設の「複合化」「多機能化」について

今後、公共施設やインフラ施設をそのまま維持していくためには、膨大な費用が必要になると見込まれており、一方で、人口減少や少子高齢化の進行により、南知多町の財源は減少することが予測されます。そのような状況の中、特に公共施設を適切に維持・管理していくに当たり、施設にかかる維持費用を削減する方法として、今ある施設の余剰スペースを活用し、今までは一つのサービスしか行っていなかった施設で複数のサービスを提供できるようにする「複合化」「多機能化」という手法があります。

「今後、この「複合化」や「多機能化」という方法をうまく活用して施設の総量を減らしていくという考え方についてどうお考えですか」という問いに対して、「賛成である」と答えた方が最も多く（45.7%）、次に「概ね賛成である」（37.9%）、「わからない」（10.0%）、「やや反対である」（0.9%）、「反対である」（0.8%）となっています。

これより、公共施設の課題解決に向け、施設の複合化や多機能化により有効活用を図ることが、高く支持されていることがわかります。

【施設の「複合化」「多機能化」について（施設総量削減の方法について）・単数回答】

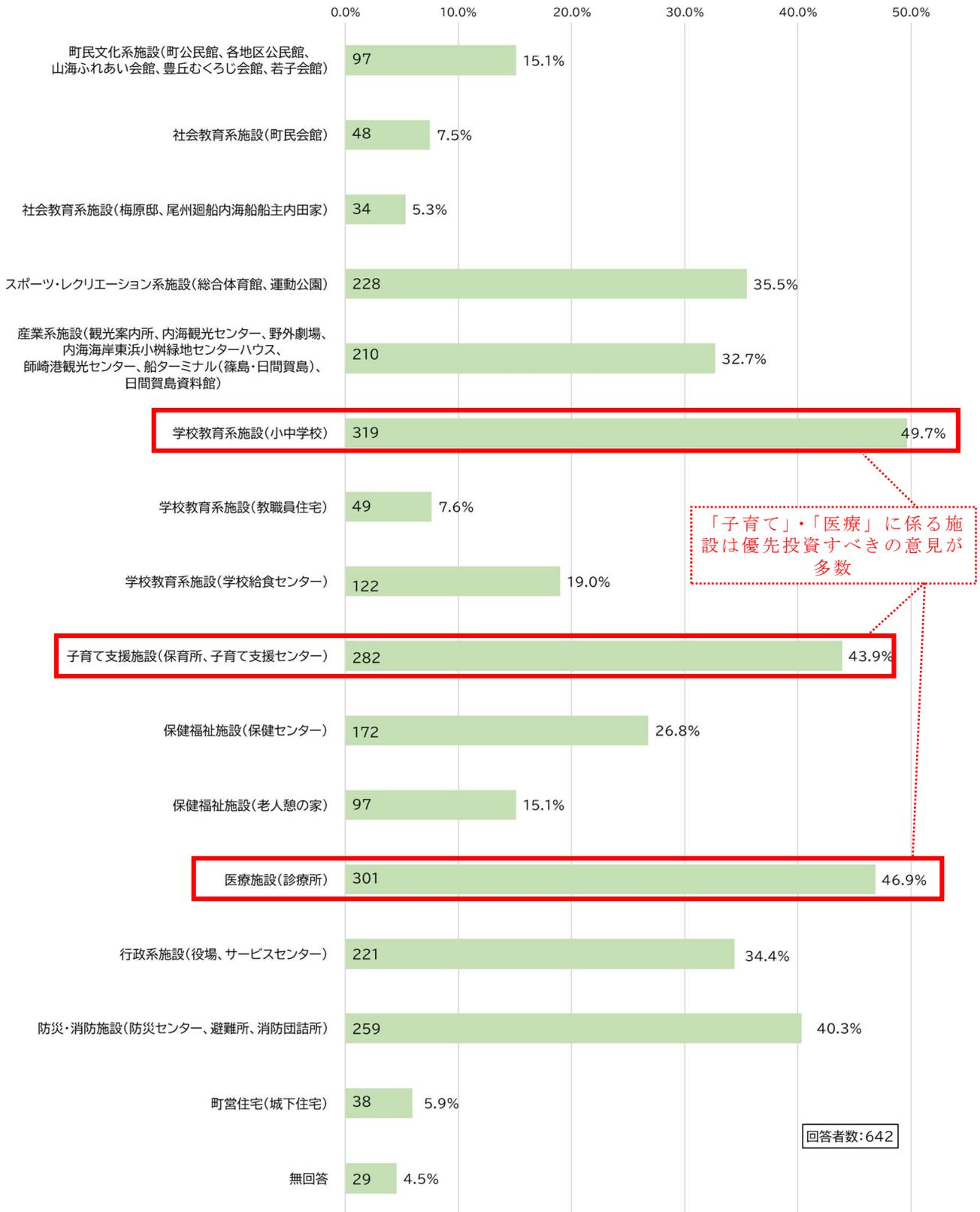


問3) 優先的に投資していくべき施設

「限られた財源の中で、町が将来にわたり優先的に投資していくべきと考える施設はどのような施設と考えますか」という問いに対して、「学校教育系施設（小中学校）」と答えた方が最も多く（49.7%）、その次に「医療施設（診療所）」（46.9%）、子育て支援施設（保育所、子育て支援センター）」（43.9%）、「防災・消防施設（防災センター、避難所、消防団詰所）」（40.3%）と続き、30%台で「スポーツ・レクリエーション系施設（総合体育館、運動公園）」、「産業系施設（観光案内所、内海観光センター、野外劇場、内海海岸東浜小桤緑地センターハウス、師崎港観光センター、船ターミナル（篠島・日間賀島）、日間賀島資料館）」と続きます。

これより、約半数の方が回答している「学校教育系施設（小中学校）」、「医療施設（診療所）」、子育て支援施設（保育所、子育て支援センター）」が、特に将来にわたり優先的に投資していくべき施設とされていることがわかります。

【優先的に投資していくべき施設について・複数回答】

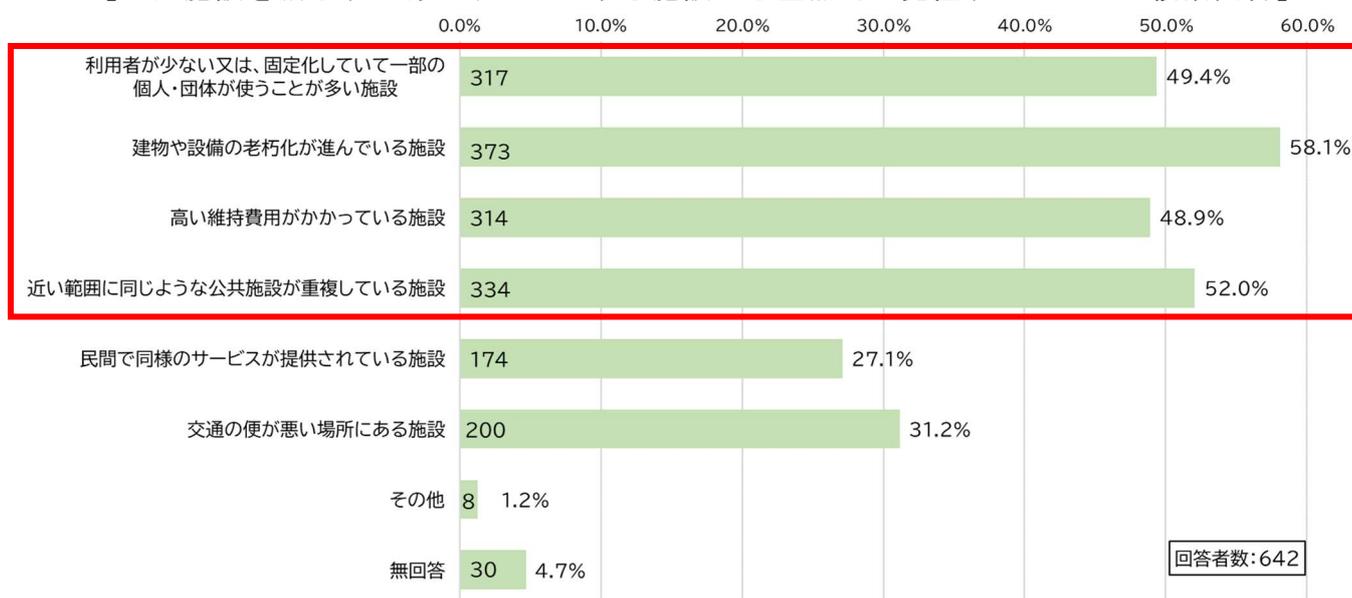


問4) 重点的に見直すべき施設

「公共施設再編に伴い施設の数減らしていかなければならなくなった場合、どのような施設から重点的に見直していくべきとお考えですか」との問いに対して、「利用者が少ない又は、固定化していて一部の個人・団体が使うことが多い施設」、「建物や設備の老朽化が進んでいる施設」、「高い維持費用がかかっている施設」、「近い範囲に同じような公共施設が重複している施設」と回答した方が多くなっています。

これより、公共施設総量の削減にあたり、老朽化が進む施設や、近い範囲に重複している施設から重点的に見直しが必要なことがわかります。

【公共施設を減らすにあたりどのような施設から重点的に見直すとよいか・複数回答】



3) アンケート調査のまとめ

- 約8割の方が施設総量の削減に向けて「複合化」や「多機能化」に賛成もしくは概ね賛成している
- 「学校教育系施設（小中学校）」、「医療施設（診療所）」、子育て支援施設（保育所、子育て支援センター）」については優先的に投資すべき
- 「建物や設備の老朽化が進んでいる施設」、「近い範囲に同じような公共施設が重複している施設」から重点的に見直すべき

このアンケート結果から、約9割の方が将来における公共施設のあり方を見直すべきと回答し、見直しにあたり、約8割の方が施設総量の削減に賛成していることがわかります。また、施設の総量を減らすために、「複合化」や「多機能化」といった方法を上手く活用し、「学校教育系施設（小中学校）」、「医療施設（診療所）」、子育て支援施設（保育所、子育て支援センター）」については優先的に投資、「建物や設備の老朽化が進んでいる施設」、「近い範囲に同じような公共施設が重複している施設」から重点的に見直すべきと考えていることが伺えます。

2 地域代表者ヒアリング

1) ヒアリングの目的及び概要

9地区の各団体や地域代表者を対象に、よく利用されているまたは利用されていない公共施設やその課題点、再配置に対する考えについて調査し、地区別の意向を把握しました。

対象	9地区の各団体（スポーツ推進委員、文化協会、PTA、保育所保護者会）と地域代表者（区長、まちづくり協議会、自主防災会）
回答期間	2022年8月24日～2022年9月16日
回答方法	紙面調査票を配布、回収

2) 主なヒアリング結果

問1) 需要の高い施設

各地区のヒアリングの中で、よく利用されており、需要が高いと思われる施設を調査しました。

内海・大井・篠島の3地区において小学校、大井・篠島の2地区において保育園、内海・大井の2地区において子育て支援センターが挙げられており、子育て世代に利用されていることがわかりました。また、大井・日間賀島の2地区でサービスセンターが挙げられており、行政サービスに利用されていることがわかりました。

需要の高い施設

内海地区	小学校、総合体育館、子育て支援センター
山海地区	南知多町総合体育館
豊浜地区	町民会館図書室、公園
豊丘地区	—
大井地区	保育所、学校、サービスセンター、保健センター、子育て支援センター
片名地区	—
師崎地区	—
篠島	小学校、保育園
日間賀島	サービスセンター

問2) 需要の低い施設

各地区に位置する公共施設の中で、利用頻度が少なく、需要が低いと思われる施設を調査しました。

施設を利用しない理由として、冷暖房環境や雨漏りといった老朽化による要因及び多目的トイレ等のバリアフリーが整備されていないといった要因が多く見られました。

需要の低い施設

内海地区	山海ふれあい会館、小樹緑地センターハウス
山海地区	山海ふれあい会館
豊浜地区	町公民館、旧中洲保育所、老人憩の家、豊丘むくろじ会館、山海ふれあい会館、山田区民館（区所有）、中村公民館（区所有）、師崎避難所、町民会館図書室
豊丘地区	—
大井地区	—
片名地区	—
師崎地区	旧師崎保育所、師崎中学校
篠島	利用頻度は良好
日間賀島	日間賀島資料館

問3) 再配置への意見等

各地区に位置する公共施設の再配置に関する意見を調査しました。

集約や廃止に対して肯定的な意見が多いですが、篠島や大井地区では、統合は難しいといった意見や、現在の施設状況のままでいいといった意見も見られました。また、再配置の際は防災やアクセス性の観点を考慮してほしいといった意見もありました。

再編への意見等

内海地区	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て施設は1か所に集約すると便利。 ・再配置をする場合、防災の観点も考慮し、高台に設置する等してほしい。
山海地区	<ul style="list-style-type: none"> ・山海ふれあい会館はあまり利用しないが、避難所のため閉鎖しにくい。 ・町に1つだけの総合体育館等は長寿命化してほしい。
豊浜地区	<ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館にすべての機能を集約するといい。 ・本当に必要なサービスが残っていれば、集約・廃止も必要。
豊丘地区	—
大井地区	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て施設は古いものが多いため機能集約するといい。 ・大井地区の公共施設は3つのみで統合は難しい。
片名地区	<ul style="list-style-type: none"> ・施設統合は必要だが、老人が増えるため利用者の足に配慮が必要。
師崎地区	<ul style="list-style-type: none"> ・児童図書館は1か所に集約し、南知多町立図書館にするといい。 ・町運動公園は利用者数をみて維持するのか検討が必要。
篠島	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の施設状況のままでいい。
日間賀島	<ul style="list-style-type: none"> ・R5 から日間賀中学校に資料館やサービスセンターを集約するといい。

3) ヒアリングのまとめ

- 子育て施設や行政施設の需要が高く、老朽化が進んだ施設やバリアフリー整備のない施設は需要が低い
- 子育て施設や図書施設は集約、総合体育館は全町施設として活用
- 地区特性を考慮した再配置が必要

この地域代表者ヒアリングから、保育所や子育て支援センター等の子育て施設、サービスセンター等の行政施設の需要が特に高く、老朽化が進んだ施設やバリアフリー整備がされていない施設は需要が低いことが分かりました。再編については、子育て施設の集約、児童図書館の集約、総合体育館の活用といった意見が見られました。一方で、防災やアクセス性への配慮が必要といった意見や、地区によっては現状のままでいいといった意見も見られました。

3 南知多町地区別説明会・意見交換会

1) 地区別説明会・意見交換会の目的及び概要

半島側（内海・豊浜・師崎）・篠島・日間賀島の3地区にて、ワークショップ形式で公共施設について意見交換を行うとともに、再配置に対する要望を地区別に把握しました。

参加者	半島側 11 名、篠島 10 名、日間賀島 12 名
実施時期	2022 年 10 月上旬に地区ごとに 3 日間に分けて実施

2) 主な意見

問1) 町に1つ必要な施設

南知多町内に欠かせない施設を調査しました。

3地区ともに役場は拠点として重要という意見が多く集まりました。半島側では、健康促進の中心として総合体育館、篠島や日間賀島では防災施設の需要が高いことも分かりました。

町に1つ必要な施設

半島側	役場、総合体育館、小中学校、グラウンド、図書館、給食センター
篠島	役場、防災センター、師崎港観光センター
日間賀島	役場、小中学校、消防署分遣所

問2) 旧町内（内海・豊浜・師崎・篠島・日間賀島）にひとつ必要な施設とその理由

旧町内にひとつ欠かせない施設を調査しました。

3地区ともに行政の窓口業務を扱うサービスセンターは各地区に必要という意見が多く集まりました。またサービスセンターや防災センターは各地区の拠点にできるという意見も見られました。日間賀島では、小中学校が無くなることで島の人口減少に繋がるといった懸念も見られました。

旧町内にひとつ必要な施設とその理由（上位2施設）

半島側	サービスセンター：拠点として必要。 防災センター：災害時には防災利用、普段は地域の集いの場にできる。
篠島	サービスセンター：島外に行く手続きは大変。 防災センター：理由なし。
日間賀島	小中学校：島に人が住まなくなってしまう。 サービスセンター：書類をもらう際に困ってしまう。

問3) 地域の中で集約化、複合化できそうな施設とその理由

地域にある施設の中で、集約化、複合化できそうな施設について調査しました。

3地区ともに、保育園や小中学校の集約化の意見が多く集まりました。特に学童保育やデイサービス等と一緒に集約することで、子育て世代の負担軽減や多世代交流を望む意見が見られました。

地域の中で集約化、複合化できそうな施設とその理由（上位2施設）

半島側	小中学校：学童保育や児童クラブと統合すれば子育て世代の負担軽減に。 区民館・公民館：公園や総合体育館、集会施設、運動施設と統合。
篠島	保育園：小学校や役場、デイサービスと統合し、多世代交流の場に。 篠島開発総合センター：デイサービスや診療所を集約。
日間賀島	保育所と小学校：少子化が進む中、効率が良い。 日間賀島の全施設：効率が良い。

問4) 廃止やむなしと思われる施設とその理由、用途変更のアイデア

廃止やむなしと思われる施設について調査しました。小中学校の跡地はリフォームや民間売却、貸出により再利用する案が多く見られました。その他、老朽化が進む公民館等の貸館施設は、総合体育館や学校に集約することで廃止するといった意見も見られました。

廃止やむなしと思われる施設とその理由、用途変更のアイデア（上位2施設）

半島側	小中学校：広すぎて膨大な維持費がかかる。民間に売却や貸出により再利用。 公民館等：老朽化が進んでいるため、総合体育館や学校に組み込む。
篠島	旧小学校：リフォームし、再利用できる。 ごみ処分場跡地：使用不可の状態のため。
日間賀島	サービスセンター：DX活用により廃止できる。 資料館：他施設に集約することで廃止できる。

問5) 民間が経営することで、利用者にとってプラスになるとと思われる施設

民間が経営することでサービスの向上が見込まれ、利用者にとってプラスになるとと思われる施設について調査しました。

3地区とも、師崎港観光センターや篠島渡船ターミナルといった観光機能を有する施設について、民間経営を望む意見が見られました。他にも総合体育館と、スーパーやカフェを併設することでより便利になるのではといった意見も見られました。

民間が経営することで、利用者にとってプラスになるとと思われる施設

半島側	体育館、図書館、師崎港観光センター、学校跡地
篠島	サービスセンター、篠島開発総合センター、旧小学校、篠島渡船ターミナル
日間賀島	師崎港観光センター、海っ子バス、保育所、資料館、公民館

3) 地区別説明会・意見交換会のまとめ

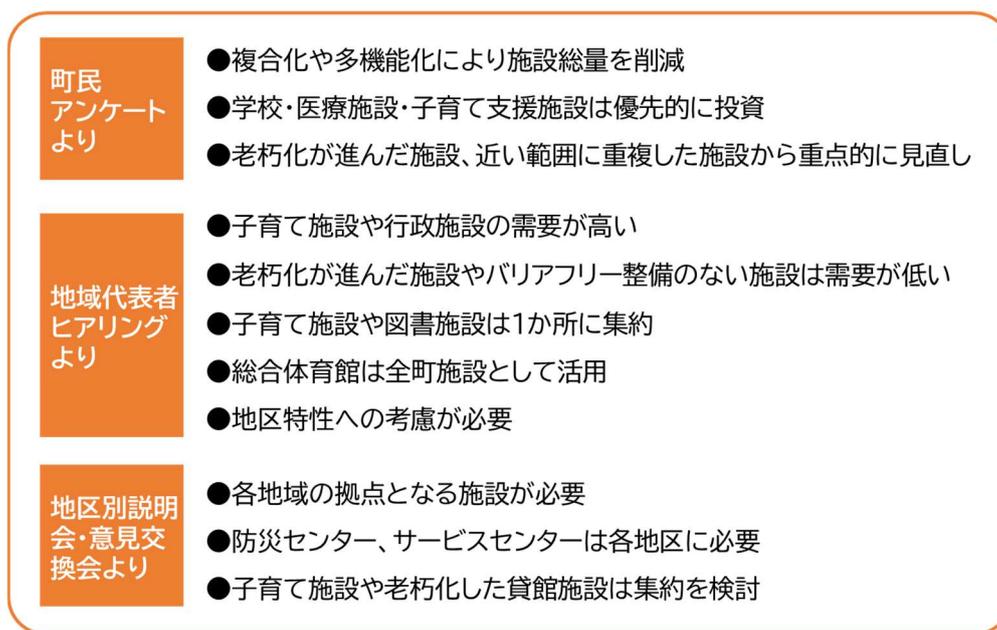
- 各地域の拠点となるような施設が必要
- 防災センター、サービスセンターは各地区に必要
- 子育て施設や老朽化した貸館施設は、集約を検討

地区別説明会・意見交換会から、各地区に欠かせない施設として、防災センター、サービスセンターといった意見が多く挙げられました。また、各地域の拠点となるような施設の需要が高いことも分かりました。小中学校については、敷地の広さを活かし、子育て施設や老朽化した貸館施設等を集約するといった意見や、民間活力を導入するといった意見も見られました。

4 公共施設に対する町民の意向まとめ

公共施設に対する町民の意向として、学校・医療施設・子育て支援施設・行政施設は優先的に投資すべき、また老朽化が進む施設から重点的に見直すべきという意見が集まりました。再配置については、近い範囲に重複した施設や似た機能を有する施設は集約すべきとの意見も見られました。さらに地区別の意向として、各地区に拠点として残しておきたい施設や、防災・アクセス性といった地区特性に関する意見も見られました。

これら意見をもとに、再配置の基本方針を定めるべく、再配置を考えるにあたり重要となるポイント4つをまとめました。



再配置を考えるにあたって重要となるポイント

①地区特性やバランスの配慮
全町に必要な施設及び各地区に必要な施設を見極め、重複した施設は集約する等、適正な配置が必要です。

②地区拠点の生成
この再配置を契機として、地域交流や新たな価値が生まれる拠点の生成が必要です。

③必要なサービスの見極め
現在の利用状況や町民意向を踏まえ、本当に必要な機能及び廃止すべき機能を整理することが必要です。

④跡地の有効活用
施設保有量の削減にあたり、多くの跡地が発生します。更なる利便性向上が期待できる活用が必要です。

第3節 基本方針

第1節で示した公共施設の削減目標及び、第2節で示した公共施設等に対する町民の意向調査の結果を基に、将来にわたって持続可能な公共サービスを提供するための再配置の基本的な方針を以下のとおり示します。

基本方針

1 南知多町の地勢に配慮した施設配置の見直し

公共施設の再配置においては、現在の施設利用状況やアンケート等から得られた町民意向を踏まえ、全町として必要な施設及び各地域に必要な施設を見極め、適正配置の見直しに努めます。特に、本町は篠島・日間賀島の有人離島を有しており、各地区一律の削減ではなく、地区のニーズを反映した施設配置の見直しが必要です。なお、施設配置の見直しの際には、アンケート等の意見からもあったように、同一地区内にある機能が重複する施設は、原則、機能統合による集約化とし、施設保有量の削減に努めます。

2 「あたらしい地域の拠点をつくる」ことによる新たな価値の提供

公共施設の総延床面積50%削減を達成するためには、多くの施設を廃止するという痛みを伴います。しかし、公共施設を減らすという「マイナス」の発想ではなく、例えば「公共施設の機能を集約することで、あたらしい地域の拠点をつくる」という「プラス」の発想でサービス向上を目指します。公共施設が削減されることでサービスが低下するのではなく、再配置を契機として、地域や世代を超えた関わりあいを深める等、新たな価値を提供できるような公共施設の再配置を進めます。

3 本当に必要な機能を見極めた持続可能な公共サービスの提供

施設配置の見直しの際には、現在の施設利用状況、町民ニーズ及び町として重視する施策等を踏まえ、現在の公共サービスを基に、廃止すべき機能や継続すべき機能等を整理します。公共サービスとして本当に必要な機能を抽出することで、施設保有量の削減に努めます。

4 未来のまちづくりの種地となる跡地の有効活用

未来のまちづくりを描くには、公共施設の再配置と両輪となって、跡地の有効活用について検討する必要があります。単なる売却だけの検討ではなく、町民の利便性の向上や町民同士のコミュニティの形成に期待できる使われ方を目指します。

第5章 公共施設評価

第1節 公共施設評価の考え方

1 評価手法

2 機能評価の考え方

3 建物評価の考え方

第2節 評価結果

1 機能評価の結果

2 建物評価の結果

第6章 公共施設の再配置について

第1節 再配置プラン検討の流れ

第2節 再配置プランの検討

- 1 再配置の手法
- 2 再配置プランの比較検討
- 3 モデルプランの検討

第3節 跡地活用の考え方について

第7章 再配置までの概算経費の試算について

第1節 既存施設を維持した場合の経費の整理

第2節 公共施設を再配置した場合の経費の試算

第3節 財政負担縮減効果の確認

第8章 再配置ロードマップ

第1節 中長期的なロードマップ

1 ロードマップの見方

2 施設分類別ロードマップ

- (1) 町民文化系施設
- (2) 社会教育系施設
- (3) スポーツレクリエーション系施設
- (4) 産業系施設
- (5) 学校教育系施設
- (6) 子育て支援施設
- (7) 保健・福祉施設
- (8) 医療施設
- (9) 行政系施設
- (10) 町営住宅
- (11) 処理施設
- (12) その他

3 地区別ロードマップ

- (1) 内海地区
- (2) 豊浜地区
- (3) 師崎地区
- (4) 篠島地区
- (5) 日間賀島地区

第9章 計画の推進に向けた今後の取組

第1節 公共施設マネジメントに係る各種計画との連携

第2節 推進体制の構築

1 庁内における推進体制

2 町民提言書

第3節 計画の進捗管理（PDCAサイクル等）

参考資料

第1節 公共施設の状況

- 1 施設類型別の状況
- 2 地区別の状況

第2節 ニーズ調査

- 1 住民アンケート
 - (1) 調査の目的
 - (2) 調査概要
 - (3) 設問一覧
 - (4) アンケート結果

- 2 施設管理者ヒアリング
 - (1) ヒアリングの目的
 - (2) ヒアリング概要
 - (3) ヒアリング項目一覧
 - (4) ヒアリング結果

- 3 地域代表ヒアリング
 - (1) ヒアリングの目的
 - (2) ヒアリング概要
 - (3) ヒアリング項目一覧
 - (4) ヒアリング結果

- 4 再配置検討ワーキンググループ

第3節 委員会等

- 1 町民討議会
- 2 再配置検討ワーキンググループ
- 3 再配置検討委員会

第4節 町民啓発

- 1 地区別説明会&ワークショップ
- 2 パブリックコメント
- 3 記念フォーラム